SERAPHIM COMICS

稜

成年コミック

山田タヒチ

TAHICHI YAMADA

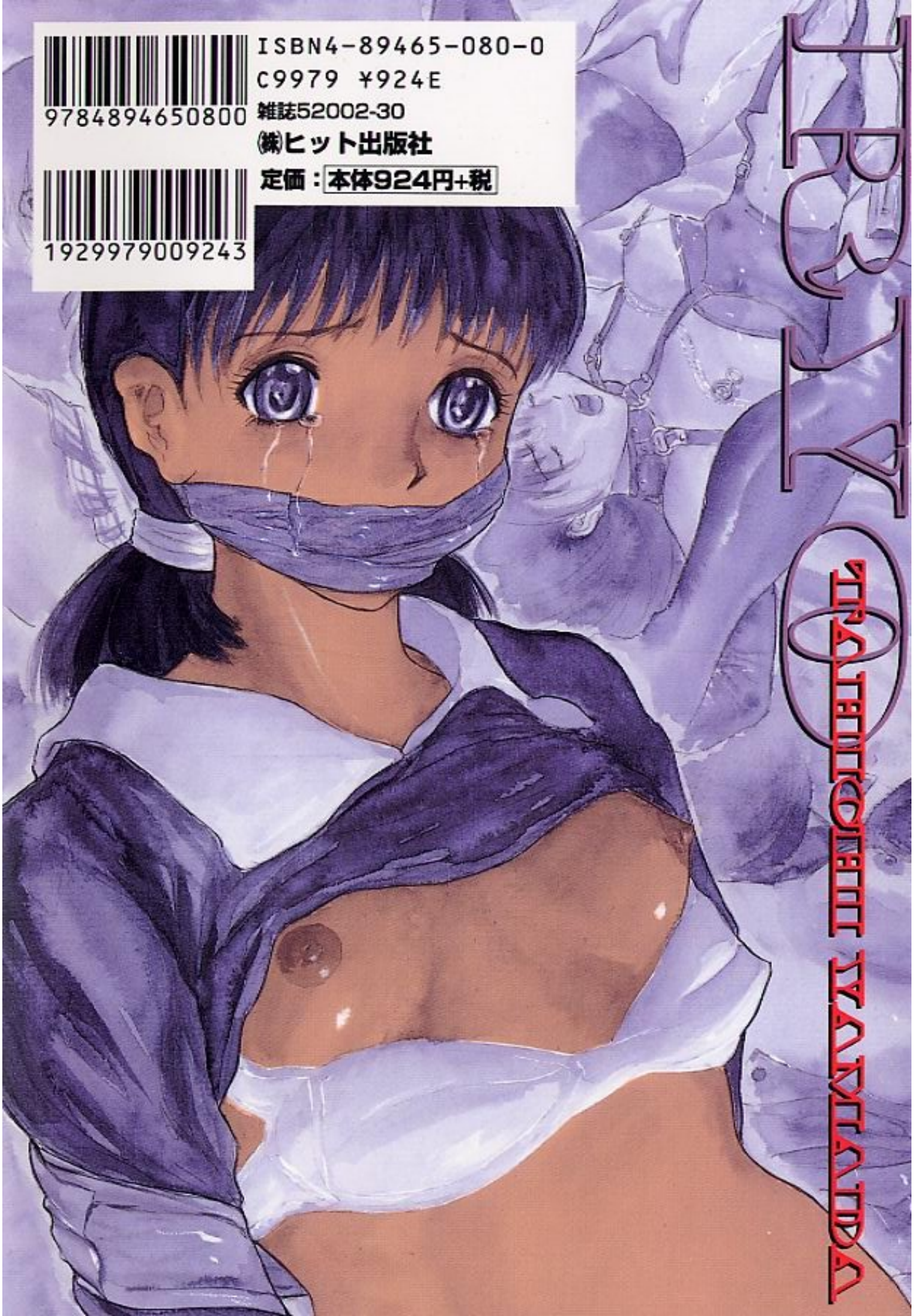
RYO

稜 —RYO—

山田タヒチ

成年コミック

ヒット出版社


ISBN4-89465-080-0
C9979 ¥924E
9784894650800
雑誌52002-30
㈱ヒット出版社
定価：本体924円+税
1929979009243
TRUTH
TATEMOTEMI YAMADA

CONTENTS

TungK

第一話　「崩壊」 ——— 3P
第二話　「豹変」 ——— 23P
第三話　「決別」 ——— 43P
第四話　「覚醒」 ——— 59P
第五話　「変化」 ——— 79P
第六話　「破壊」 ——— 99P
第七話　「恥辱」 ——— 119P
第八話　「発端」 ——— 139P
第九話　「輪廻」 ——— 159P

■「崩壊」
ひっ……
下の穴のすべてを犯され
あっ
ん……
あ
あんっ
愛液とよだれを流して快んでいる……いやらしい娘だ……
ひ
な
あ
静
音
んっ…
ん…あっ
あ…っん
あんあっ！
ひ…あ

第一話
「崩壊」

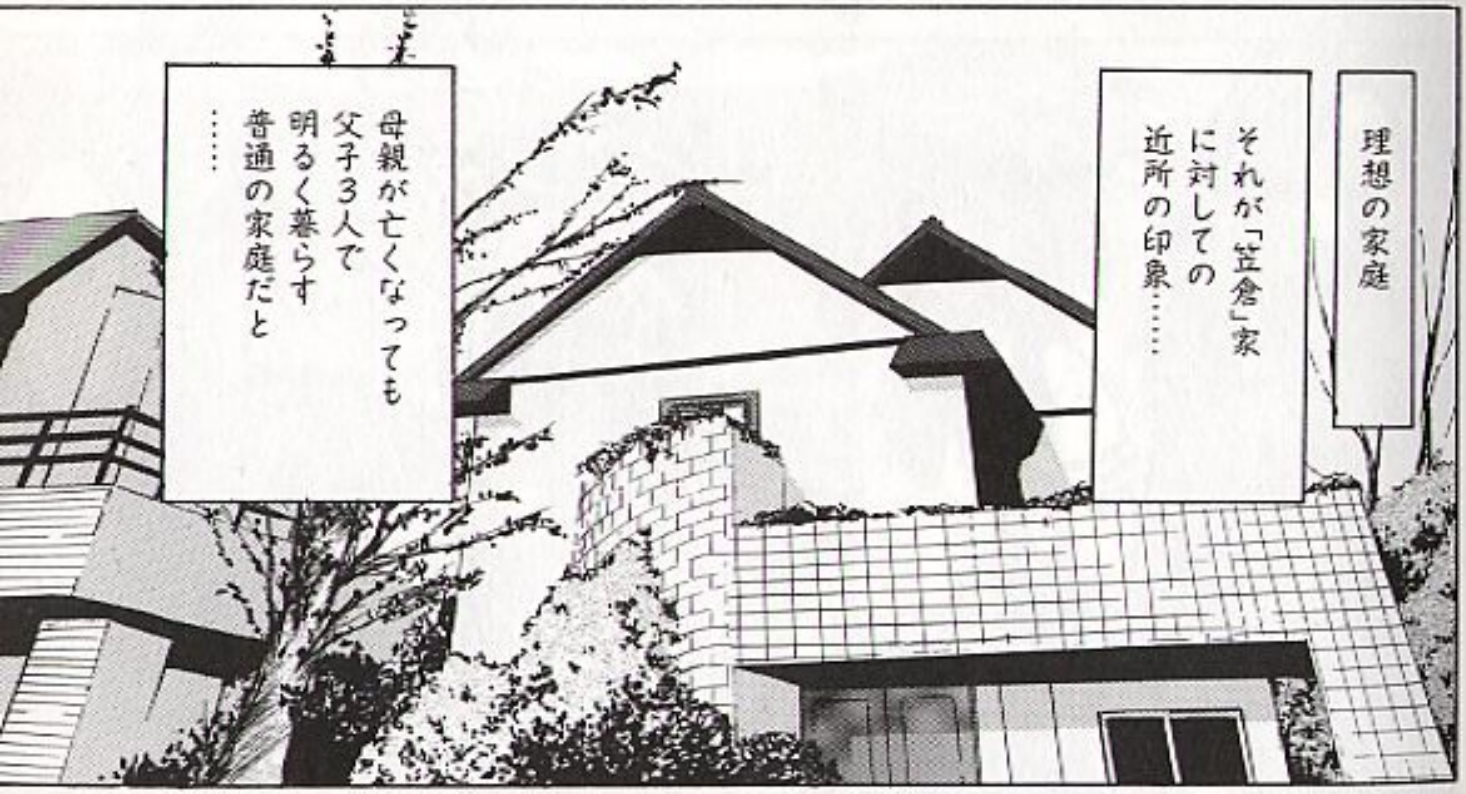
あぐっ……

ん…くうっ…

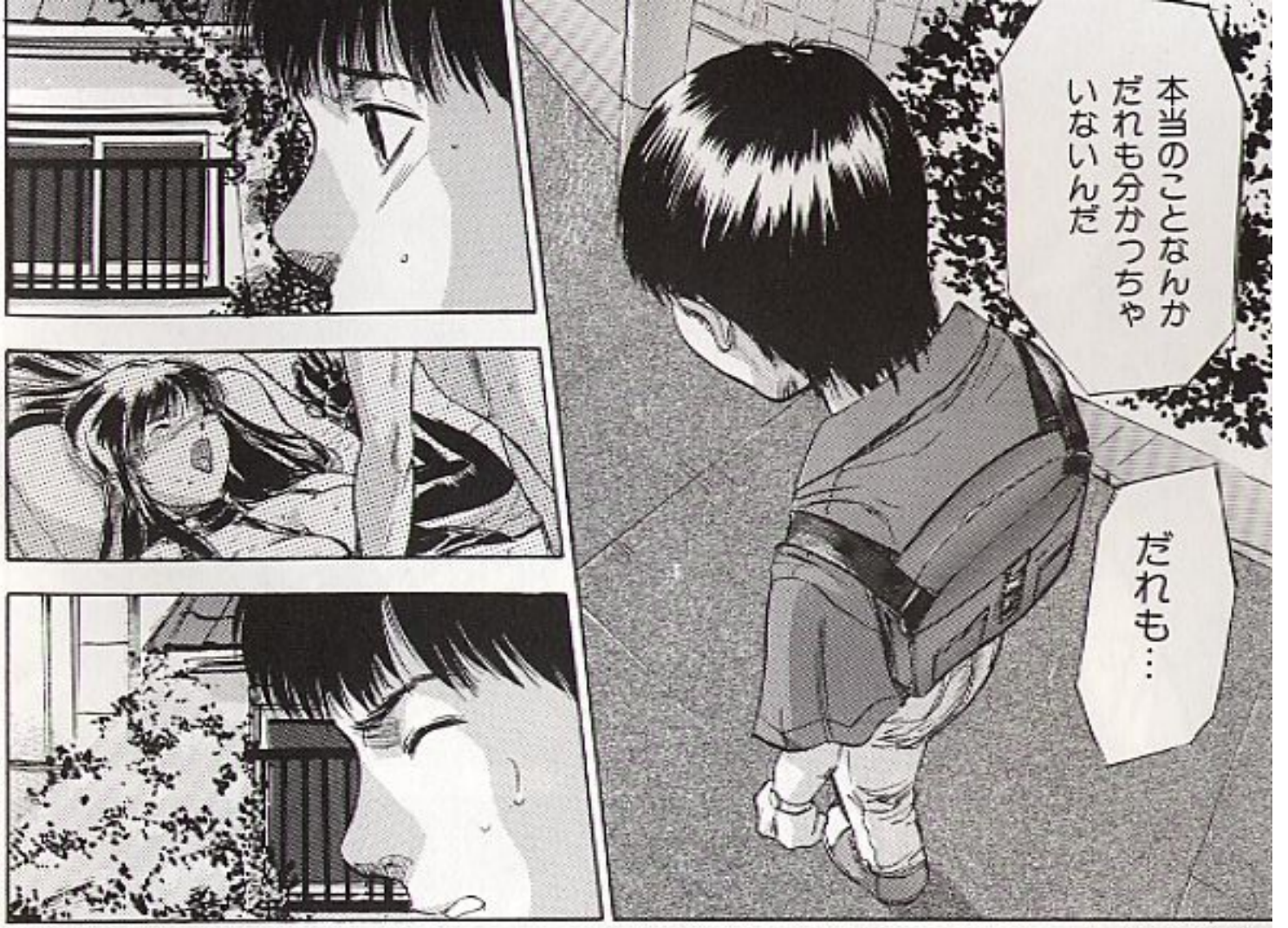
やめろ
やめろォつ！
ん…あ！
どうした静音？
出る…
出ちゃう
……
利尿剤が効いてきたか
トイレには行かせない
あ…っ
あっ
はあ
お前はここで——
・・・・・するんだよ
動物のように！
や……
ん…ん
っ…あ…!!

ア…
アアッ
んアッ！
は…
う…ぁ
こんな所で放尿し
その上イったのか
はぁ
ヒヒ
だらしない
はぁ
はぁ
まだこれからだと
いうのに…
は…ア

姉…さん…

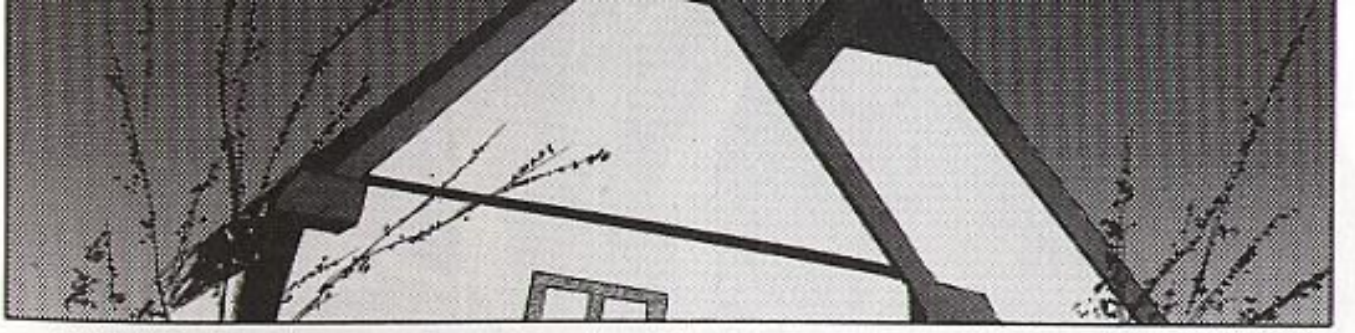

理想の家庭
それが「笠倉」家に対しての近所の印象……
母親が亡くなっても父子3人で明るく暮らす普通の家庭だと……

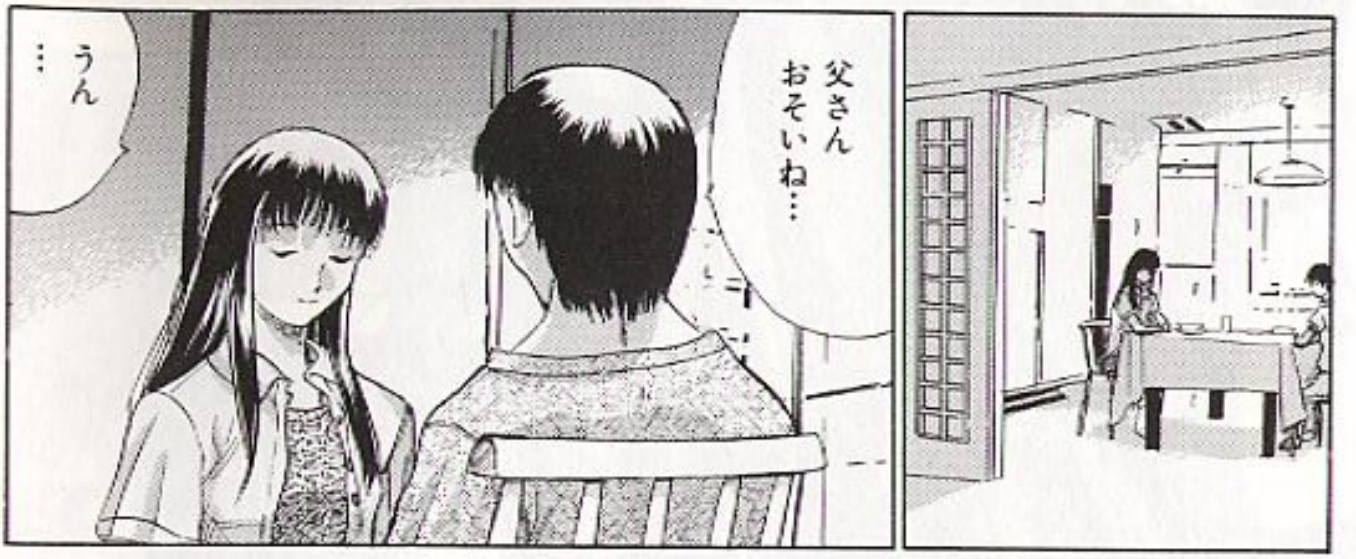
しかし
それは
偽り――
今晩は
稜ちゃん
こんばんは…

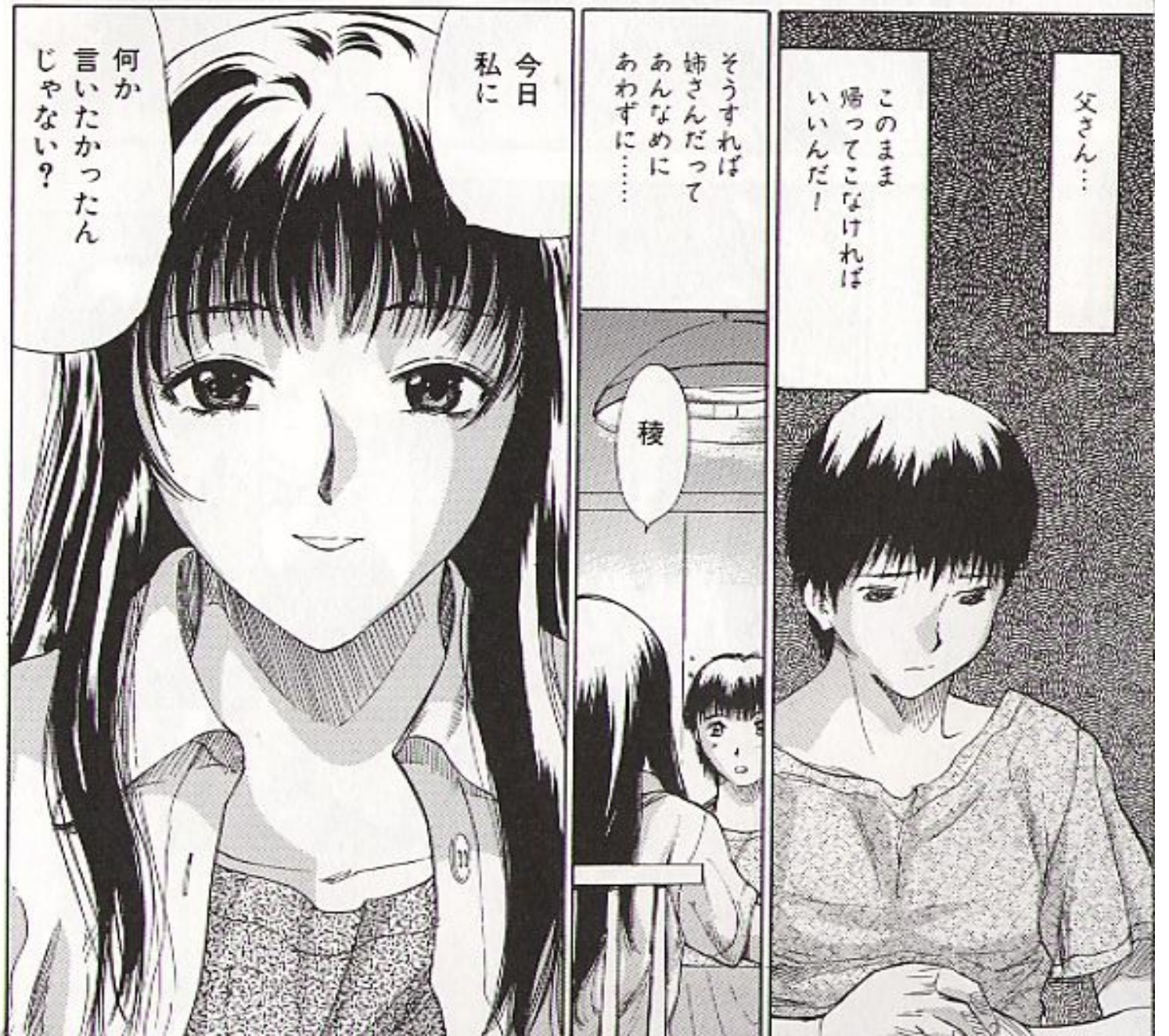

本当のことなんか
だれも分かっちゃ
いないんだ
だれも…

稜
！
今帰り？
姉さん！

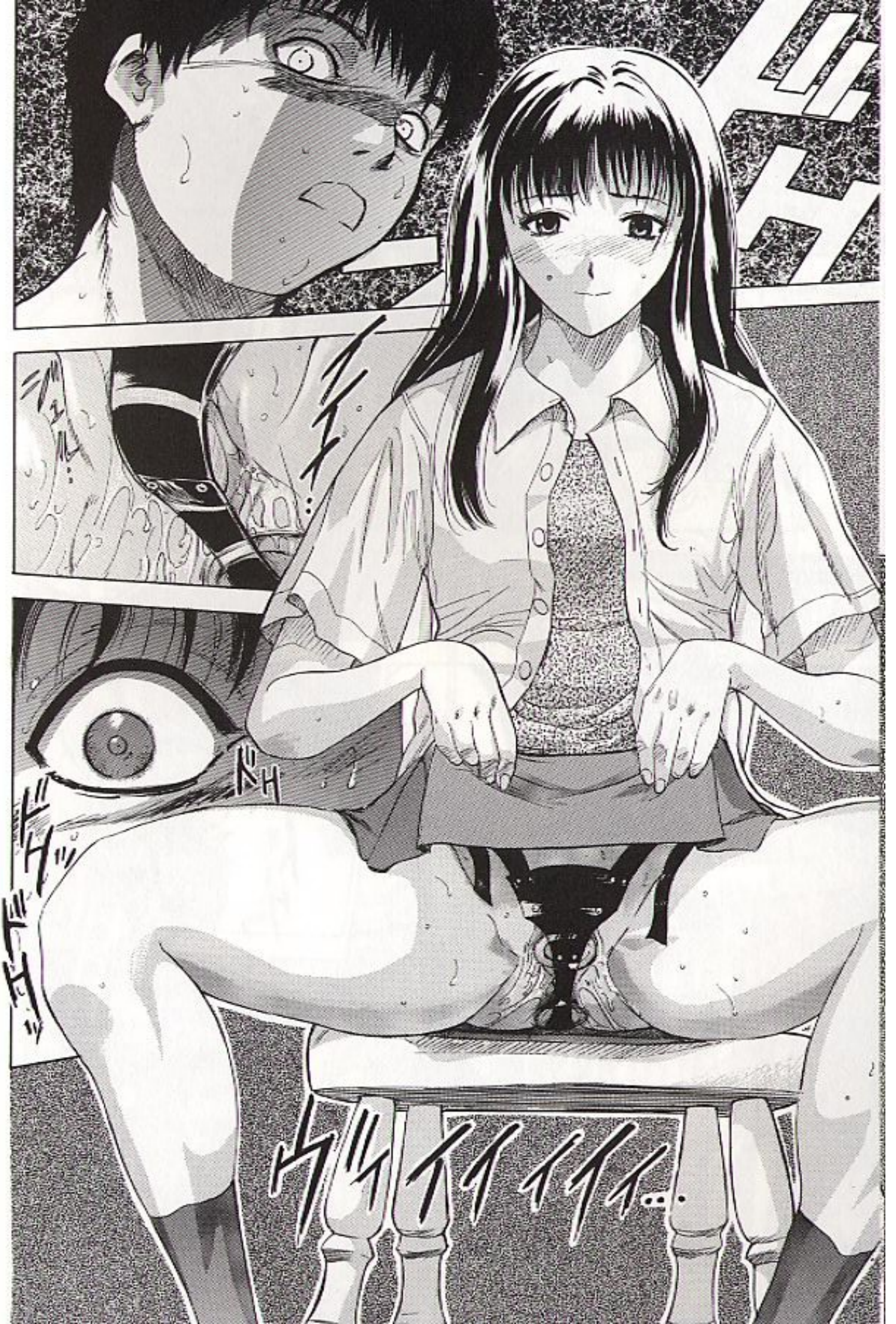
夕飯の材料
買いにいくけど
いっしょに行く？
う…
うん
……
あの…
姉さん…
ん？
あ…
ゴメ…ン




父さん
おそいね…
うん
…


父さん…
このまま
帰ってこなければ
いいんだ！
そうすれば
姉さんだって
あんなめに
あわずに……
稜
今日
私に
何か
言いたかったん
じゃない？

別に…
あてて
あげようか
！
例えば
私がこんなこと
されてることとか？


ドヒ
ドヒッ
ドヒッ
ヴィイイイイ…

知ってるんでしょ
稜
ん…ぐ
ふ…ん…ア
アアッ!
私とお父さんの
こと…

あガッ

ハ…ん…ァ
っハァッ

…!

はァ

はぁ

はァ

はァ

はァ

はァ

はぁ

はァ

はァ

は…ぁ

う…あ

あっ
稜……
やめて…
……さん
あっ…

はぁ
はぁ
はぁ
チュプ
姉さん
だめだっ
ん…っ！
……!!

ん
アアブアッー!
ズブりゅウッ
あ・・・
ぐうっ
ひ…あ
入っちゃったよ
稜の…
うアっー!

稜…感じるよ
姉さんの中で動いてるの…
稜も感じて…

あっあっ
はあっ
はあっ
はあっ
はあーっ
アッ

アッ
はァ
んっ
あっ
ん
んふっ
く…う
アッ
アッ
ハァ
ひ
アッ
ん…う
やめ…て
いやだ…
こんなの
これじゃまるで
父さんと同じ…
!

父…さん!?
ん…お父さん
見て…稜とこんなに深くつながって…
非道い姉だな静音…
稜とSEXする所を撮ってくれだなんて……
自分の弟を何だと思ってるんだ?
REC
お父さん!稜いきそうよ
姉さんが…?ウソだ…
あ…やあ…
撮って稜が出す所撮って!!
!!

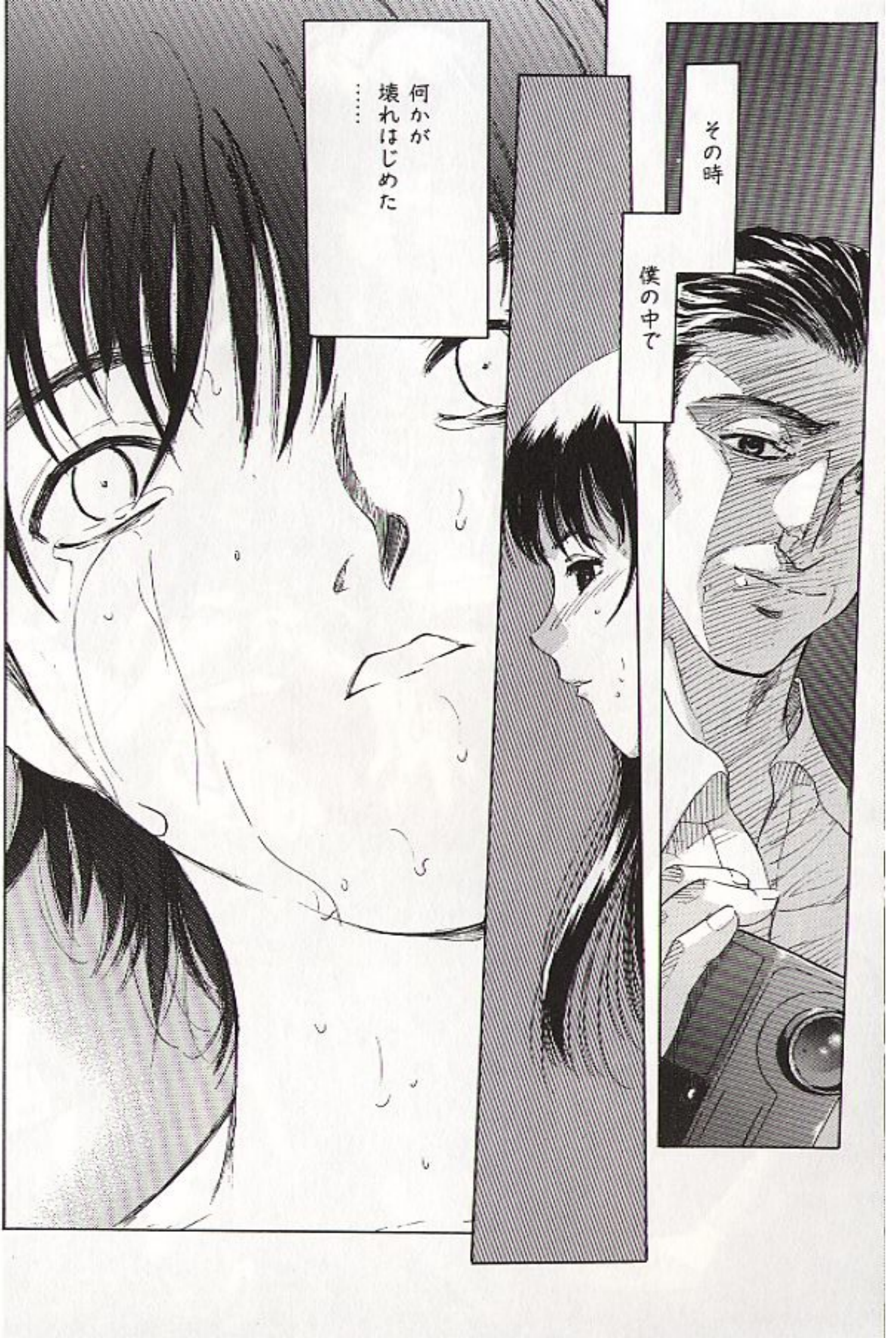
ウソだ――っ!!

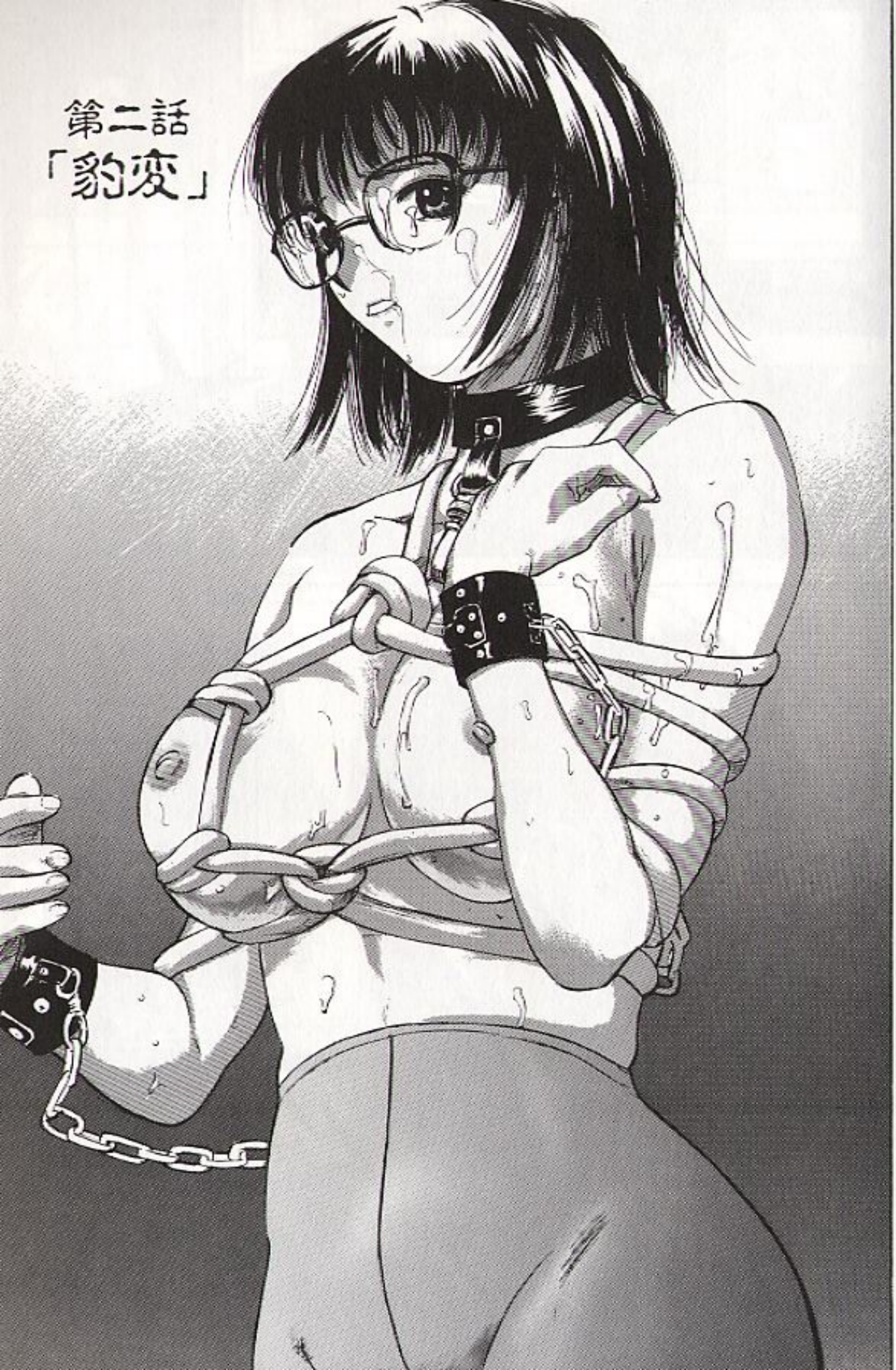
んあっ
ああっ

ひ…

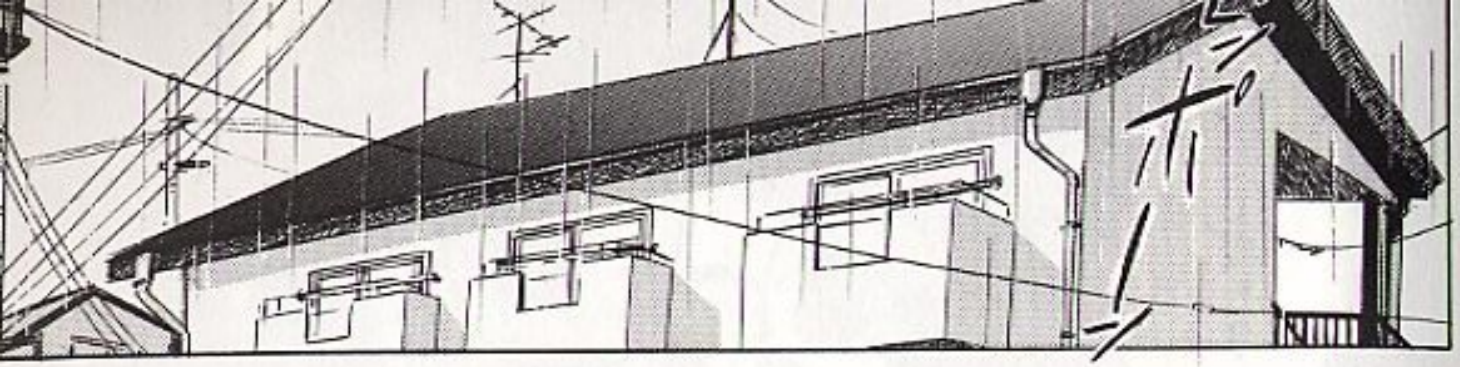
…あ
…ア…ア

……


その時
僕の中で
何かが
壊れはじめた
……


第二話
「豹変」

信じていた人に…
姉さんに
裏切られた……
裏切られた……


ポツ

先生…

ガチャ
！
ガアアア！

だれ…？

私も
してもらいたいな
…その「お礼」
！
父さん!?
父さん
まさか……
先生
……
いつも稜のことを
気づかってくださって
ありがとうございます
稜もあなたの
ことをひどく
慕っておられる
ようで
これは私の
心ばかりの
お礼です
受けとって
いただけ
ますか？

あ…う
うあ…っ
先程飲まれた
紅茶に筋肉弛緩剤
を混入させて
いただきました
しばらくは
全身の筋肉が
弛緩し
思うように
動けません
先生は
遠慮深い方と
お見受け
したので…
こうでもしないと
受けとっていただけ
ないと思いまして…

さあ 受け取って
下さい……
ア…
んっ
ん…アッ
素晴らしい
柔らかさですよ
先生……
ん！
くっ
や…ア…
…っ！
ハアッ
ハ…ア

んんっ
ぬちー
アッ
アッ
ハ…ッ
ひゃ…
ひゃめ…へ
…っ
言い忘れてましたが
紅茶の中に「Yohimebe
Cottex」という薬も
入れておきました
その薬は
性線刺激ホルモンを
過剰に分泌させる
働きが
ありましてね

より先生に
楽しんでいただける
ように…と
アッ！
い…や
アッ
…んっ！
ヒッ…
アヒッ
ヒイッ
！
…っ
ハ…ッ…ア…
アッ…
アッ
ん…アアッ
！

アッアッ
アア…アッ!!
んくっ
い…や
アア
アアッ
!!……

気に入って
いただけ
ましたか
こんなに
喜んで
いただいて
はぁ…
はぁ…

では
もっと
喜んで
いただき
ましょう
はぁ
あ…ふ
カチッ
あ…
あ…!
ん…
ウウウ…
いやだっ
姉さん
はなし
…て
お父さん
つれて
きたよ
アッ
あんっ
…ア
!!
アハアッ

アッ！
アハッ
あぐっ
ハァ
ハァッ
アンッ
ア…アアッ！
ムスュ
グニュ
プチュ
ぬちゅうちゅーぷーっ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぐちゅぐちゅ
ぬぷうっ
ハァッ…
ハアアッ
アひっ
ヒッ
ヒイッ!!

ヒッ
アン…
アッ
先生――!?
あっ!!
うぁっ…
先生を楽しませてあげなさい
はぁ
はぁ
はぁ
いやだっ
ゆ
いやだァ!!

お願い……稷く…ん

入れて……

入れてエ…！

う…アアッ

んアアアッ!!

ぐ…うう
…ア…ア
…ア
はァ
くはっ
アハッ
ハッ
はっ
はっあ…
ア…ヒ
アッ
うふアッ
あふっ…穂くん
のペニ…ス…
……
オマンコに…
見て
入ってる…先生の…
はぁ
はぁ
んはっ

んっ
んっ
んふっ
んんっ
ふうっ
ふっ
あ…あっ…先生っ!!
いいのよ…出して…出して…中…にっ!!
…く…うっ…
ひあっ
あっ
あっ
あっ……!!
あ…

ん…っ…

!!……

あっ…ん…っ

はアアアアッ!!

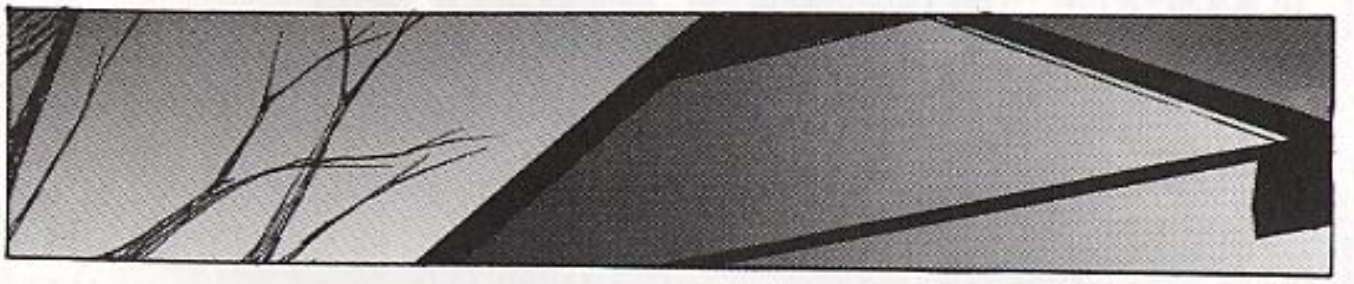
ドクン

ドクン

ブピュッ

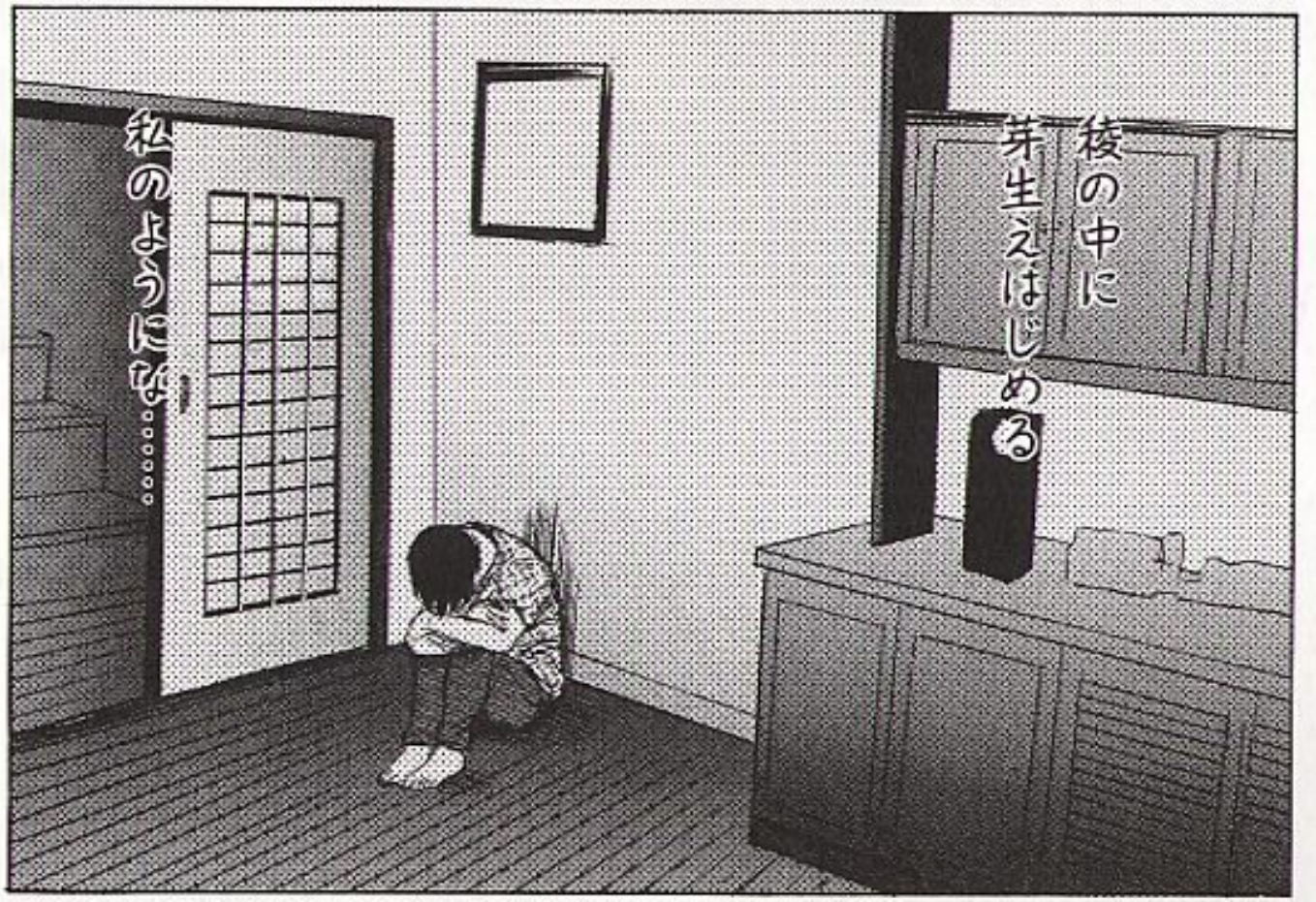
ビクッ

ブルッ



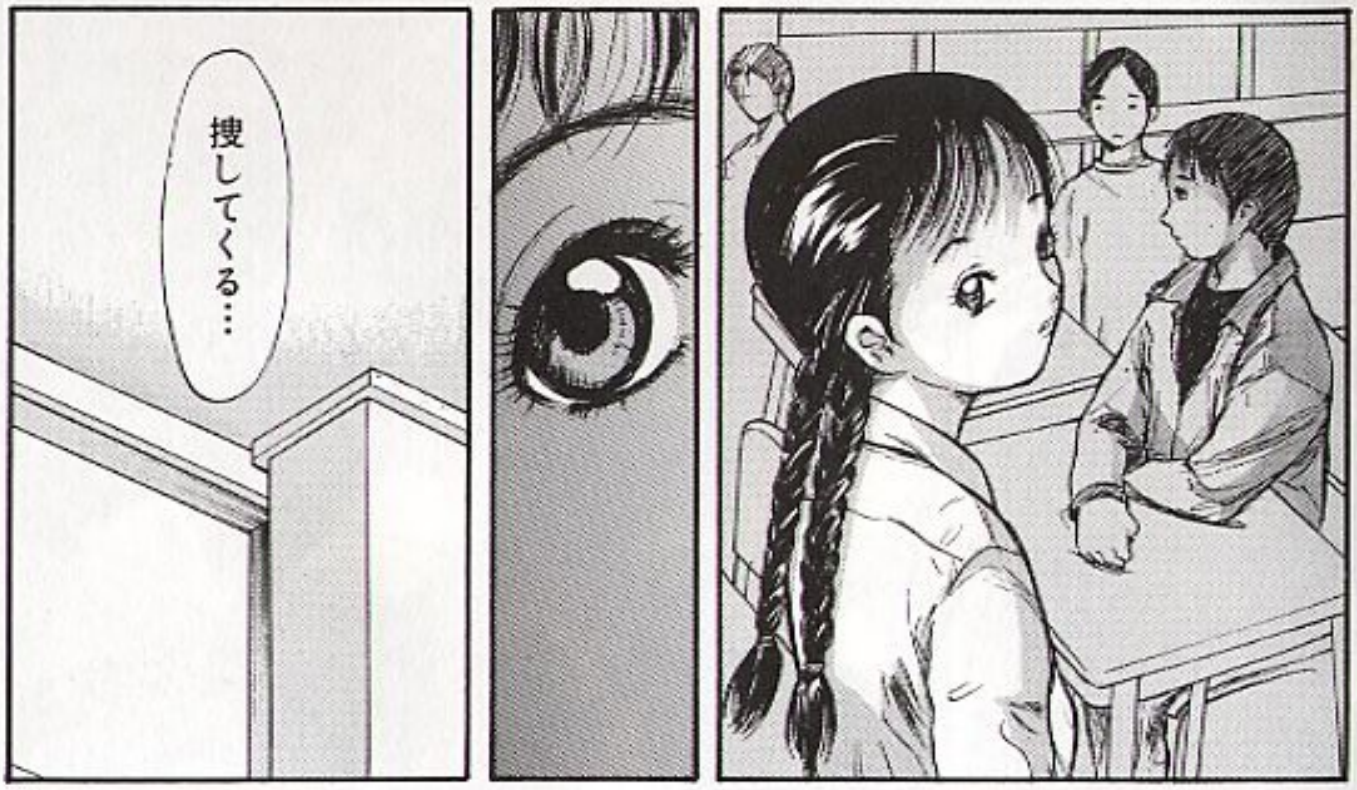
お父さん
稜 自分から
腰動かして
いたね
ああ…
ああいうことを
だれよりも嫌悪する
子供だが——

今度のことで
それが大きく
変化してきたと
いえるだろ
う……
そして
大切なモノを
失なってまで
快楽を
手にいれよう
とする心が


稜の中に
芽生えはじめる
私のようにな……

■「決別」

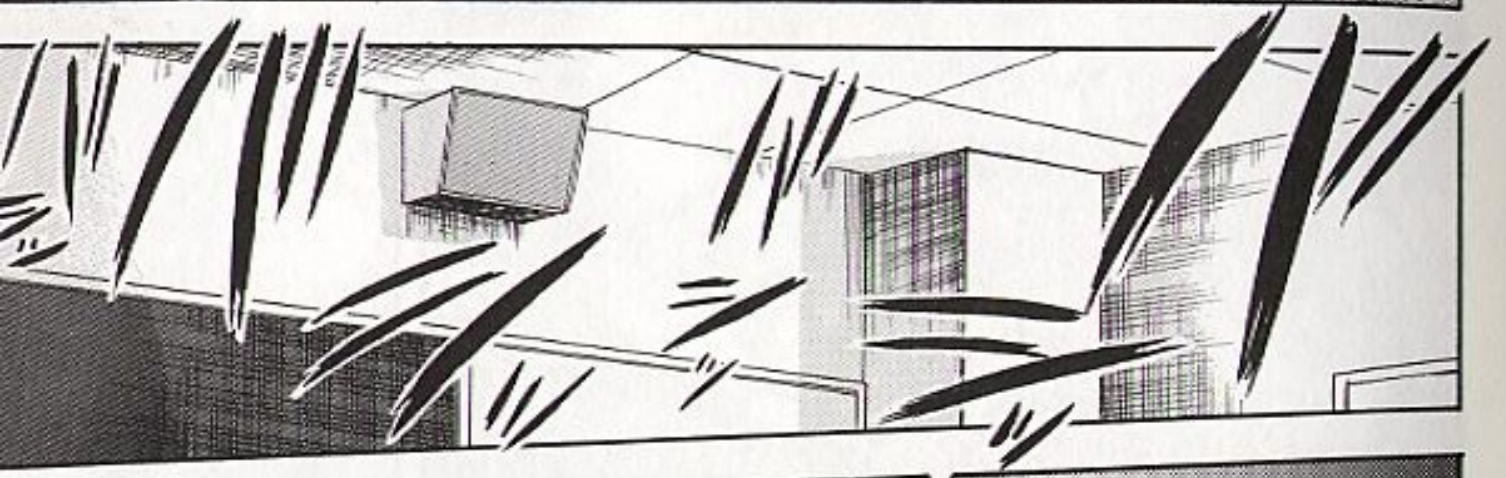
笠倉いなかったよ
5-A
うそ…
委員会もうすぐなのに…
ちゃんと確認した?
職員室に呼ばれてたはずなんだけど…
どの先生も見てないって言ってた
いいから始めようぜ


捜してくる…

第三話
「決別」

音楽室
……
あ…
はあ
はあ
はあ
…っ
あ…!!
やだあァ!
や…
…う
うーっ!!

ああ
わあああっ



ふー
ふー
ふー

ふー
ふー
ふー

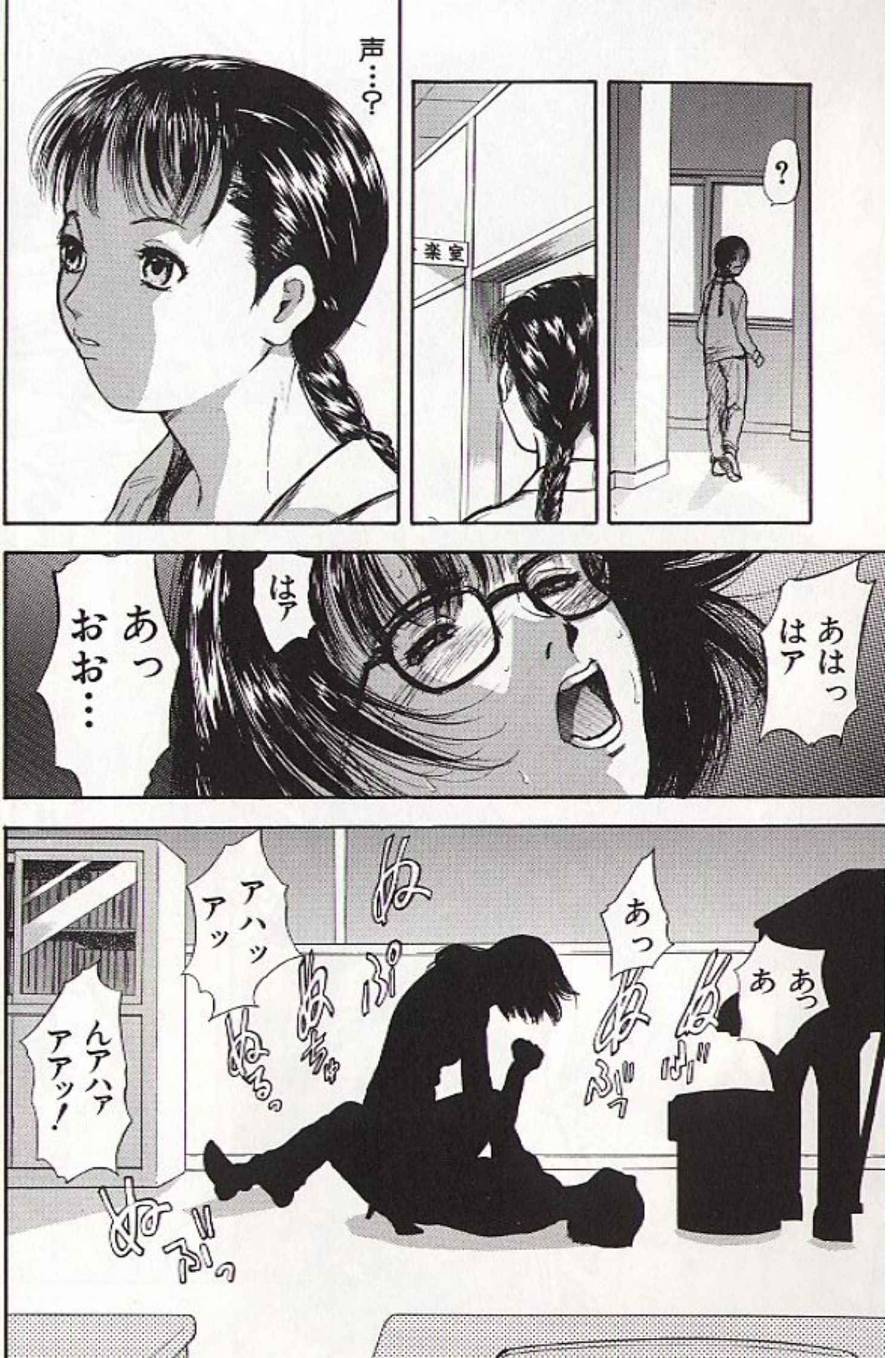
ふー…

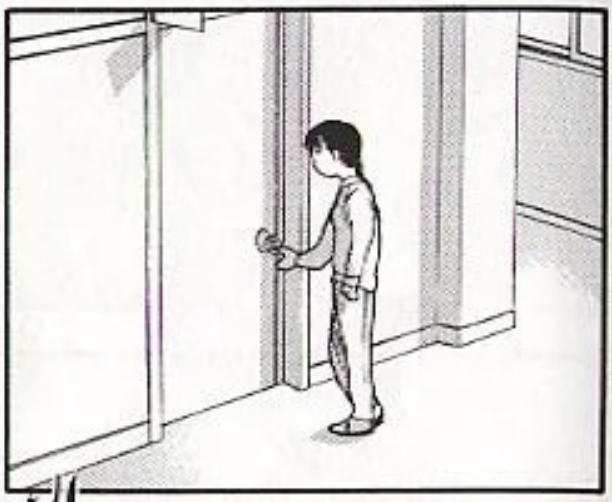
はァ…
あふっ
はあ
はあ
あっ
びくっ
あっ
んっ
んっ
ん
はあ
はあっ…

ぬちゅっ

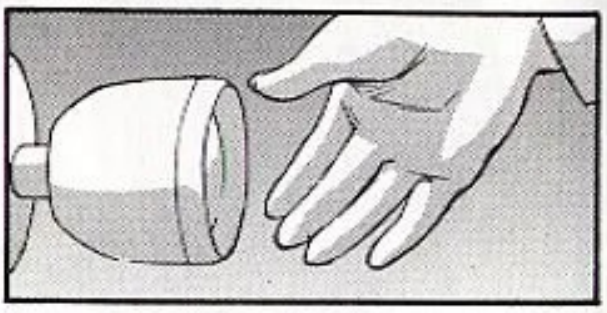
アハァアアッ

ぎゅーっっ
んあっ
あっ
ア
ハアッ
るうっ
ぬ
ぶぷぷ
ぢゅぷ
アッ
アッ
アハッ
アプ
うあ…っ
あっあ…
あっ
あ…あ

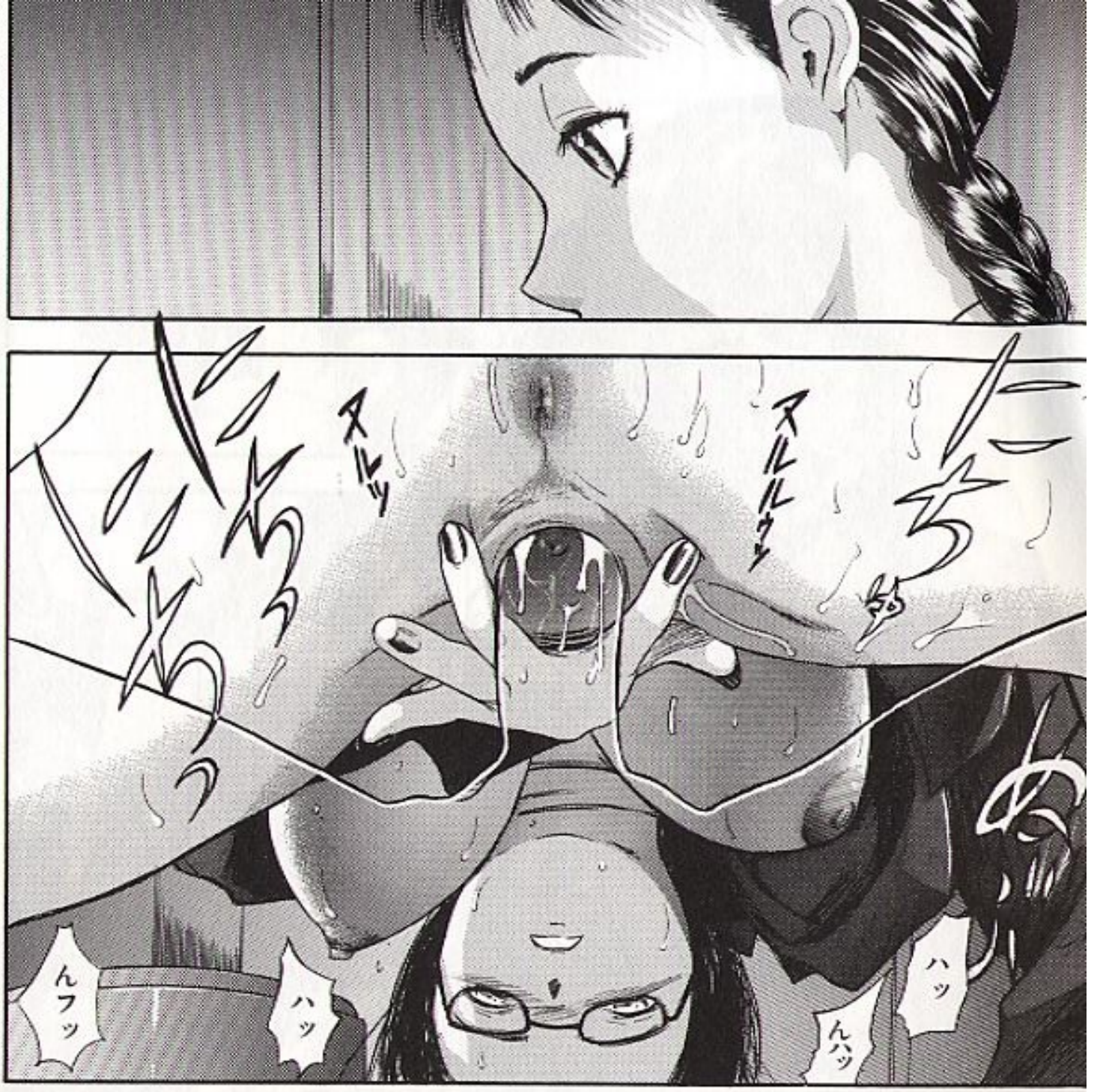

?
楽室
声…?
あはっ
はア
はア
あっ
おお…
あっ
あ
あっ
ぬぶっ
ぬぶっ
ぬぶっ
ぬちゅ
ぬるっ
アハッ
アッ
んアハア
アアッ!
ぬぶっ

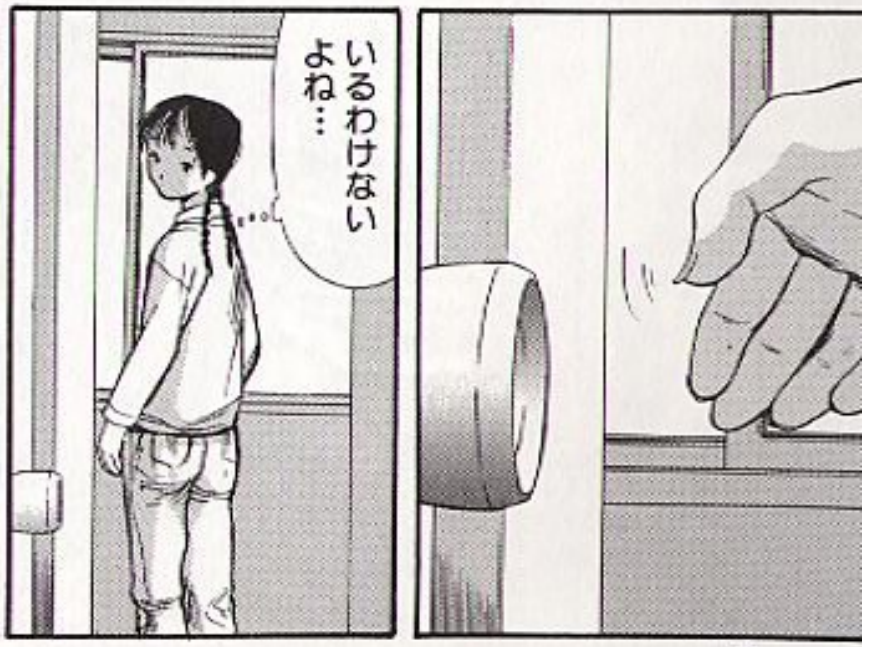


くっ
あっ
いやだ…
いやだあァ…
あっ

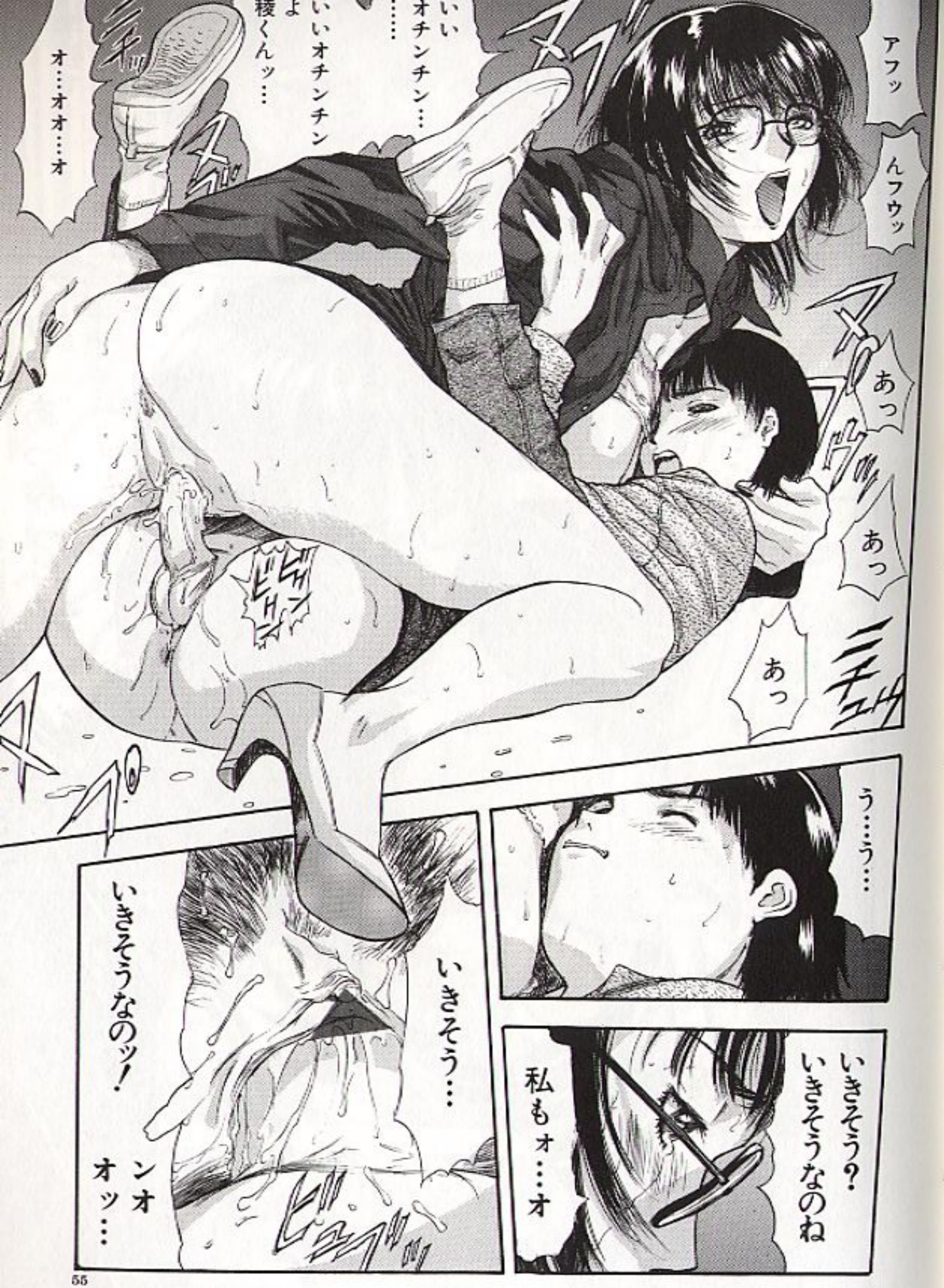


いいっ…
はあっ
いいの…
いいっ
あっ…


ヌルッ
ヌルルゥ
ハッ
んハッ
ハッ
んフッ


いるわけないよね…

アッ
アアッ！



アフッ
んフウッ
あっ
あっ
あっ
いい
オチンチン…
……
いいオチンチン
よ
稜くんッ…
オ…オオ…オ
う…う…
いきそう?
いきそうなのね
私もォ…オ
いきそう…
いきそうなのッ!
ンオ
オッ…

学校で…
こんな所で…ェ
……

はアッ
んアア…

ア…あっあっ…ア

っ……ア…

ア〜〜〜

ビクッ

ビクッ

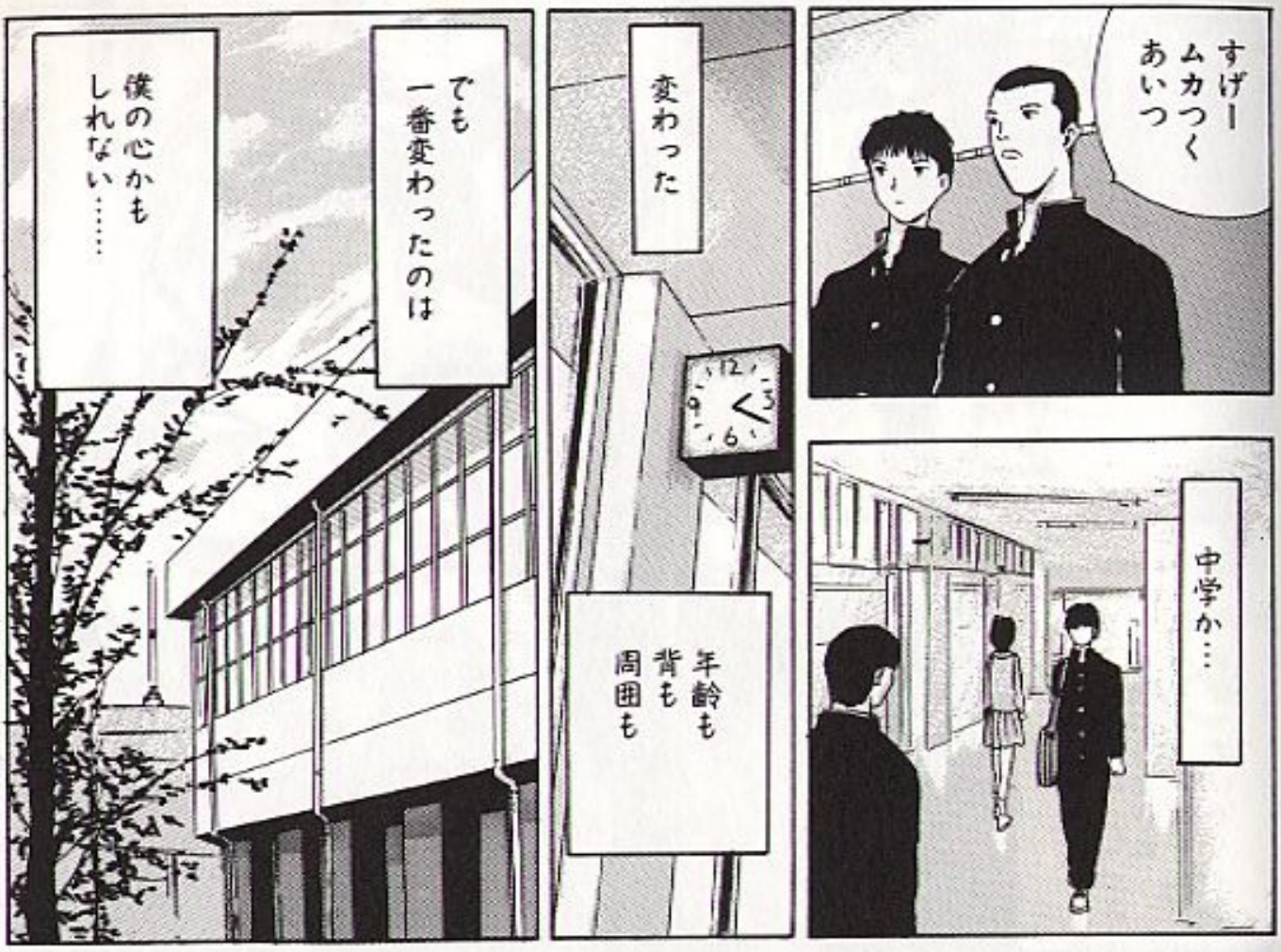
ビクッ

ハオオオオ〜〜!!
ビュッ
ビュ
ビクン
ビクンビクッ
ビュッ

笠倉くん
今まで
どこに…
あっ！
ちょっと

第四話
「覚醒」

笠倉…
だったよな
お前
まだ
クラブ
きまって
ないだろ?
入るなら
バスケ部に
しろよ
お前、背
高いしさ
先輩に
たのまれてんだ
興味ないよ…


すげー
ムカつく
あいつ
中学か…
変わった
年齢も
背も
周囲も
でも
一番変わったのは
僕の心かも
しれない……

笑えなくなった
人のことが
信じられなくなった……
姉さんのこと、先生のこと
そして、父さんのこと…
それが僕を変えた…
笠倉くん

笠倉くん
どうしたの？

……
別に

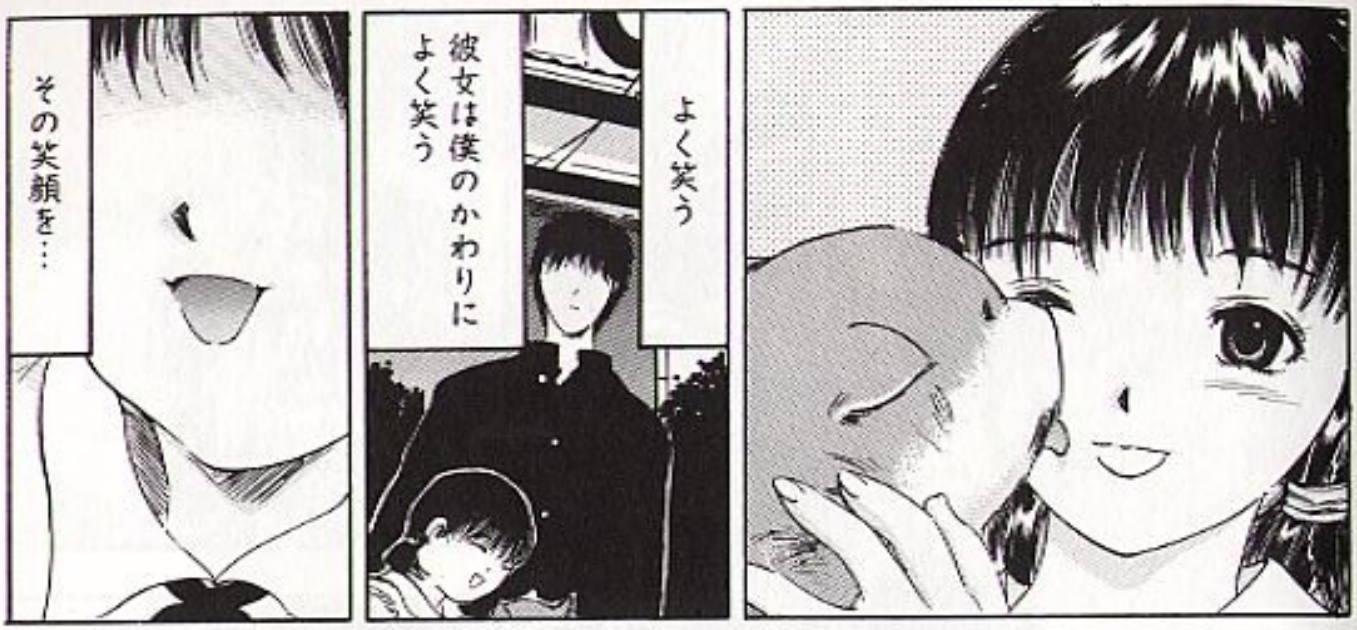
そう？
ずっと
だまりこんで
いたから…

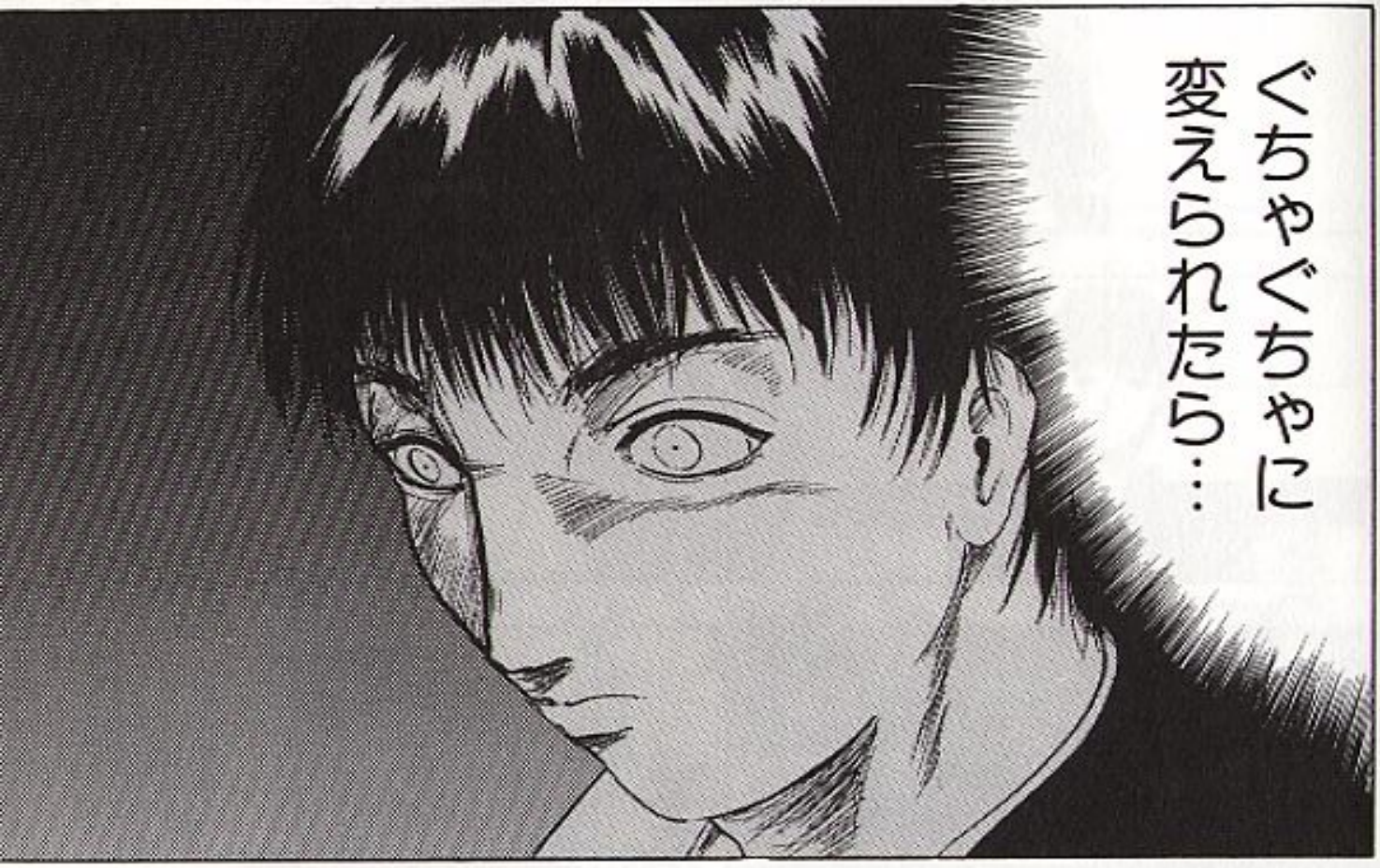
彼女の名は
福島裕子
少し前に告白され
なんとなく
つき合っている

——でね
面白いん
だよ

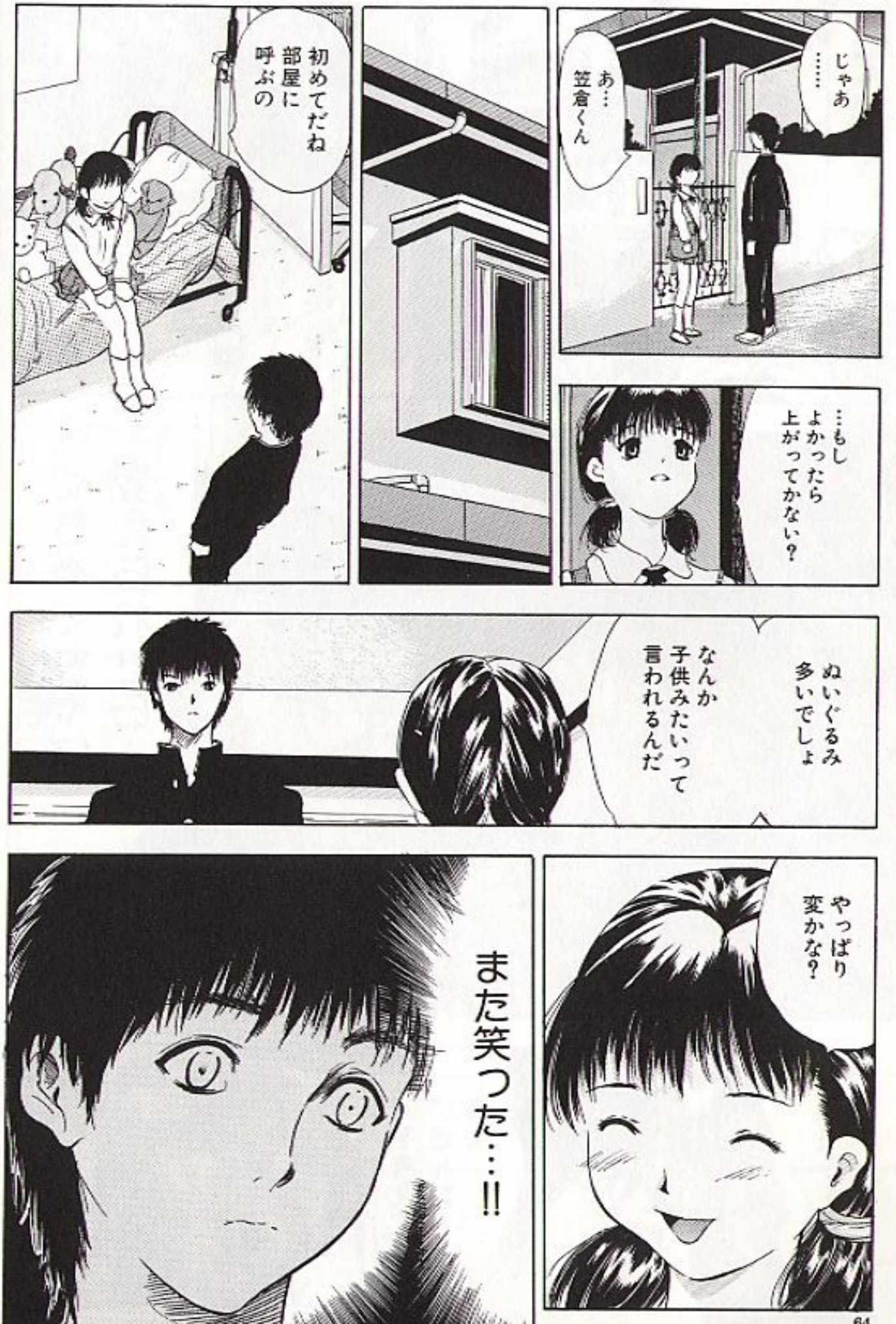
人のことが
信じられないと
言った僕でも

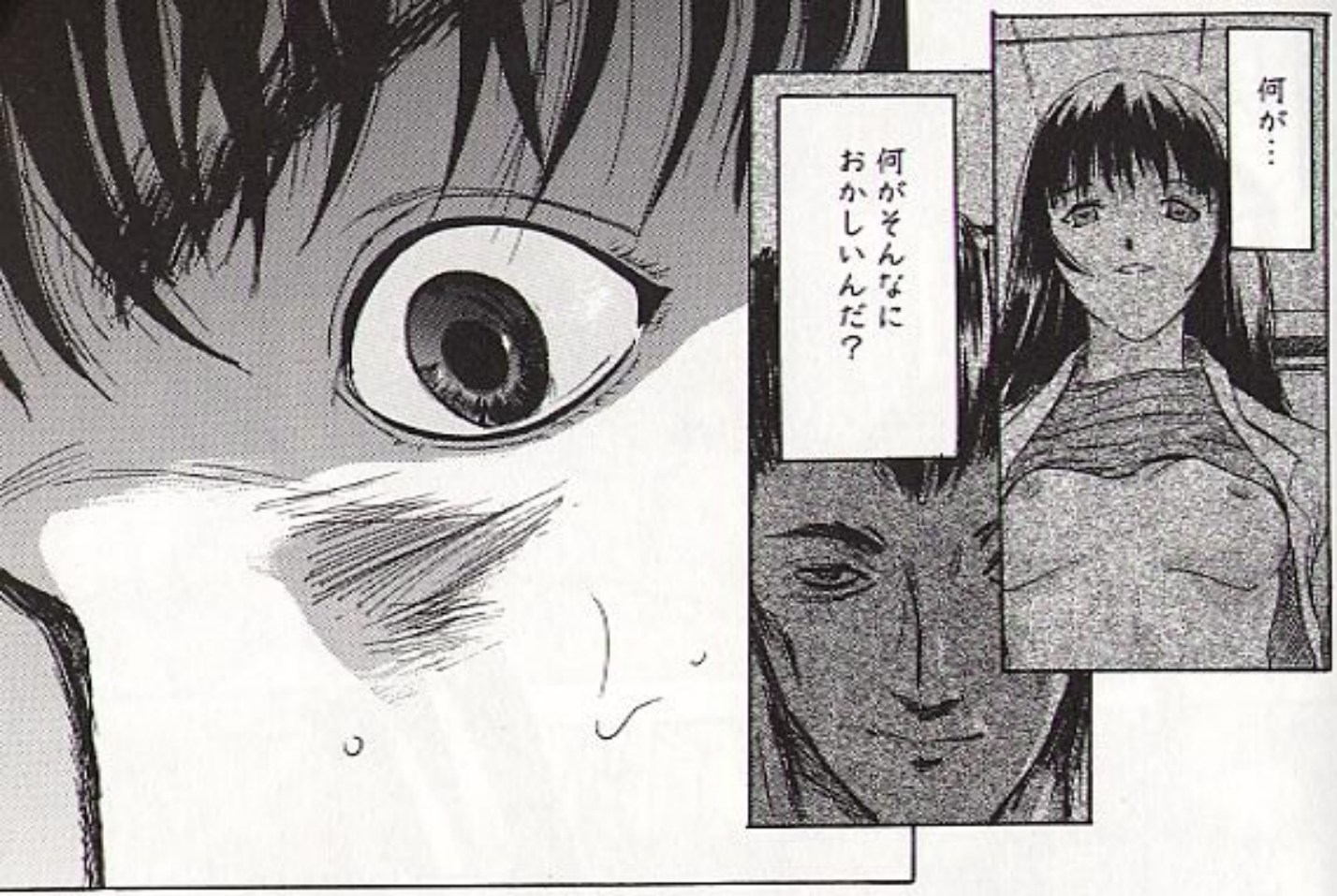
彼女だけは
心を許せる
そんな気が
していた…


よく笑う
彼女は僕のかわりに
よく笑う
その笑顔を…


ぐちゃぐちゃに
変えられたら…

何を考えて
いるんだ
僕は……
何を……


じゃあ……
あ…笠倉くん
…もしよかったら上がってかない？
初めてだね部屋に呼ぶの
ぬいぐるみ多いでしょ
なんか子供みたいって言われるんだ
やっぱり変かな？
また笑った…!!


何が…
何がそんなにおかしいんだ？

CDかけようか
trfの新譜が……

ドン ドン

ドンドン
ドドド…

ドド…
ドド…

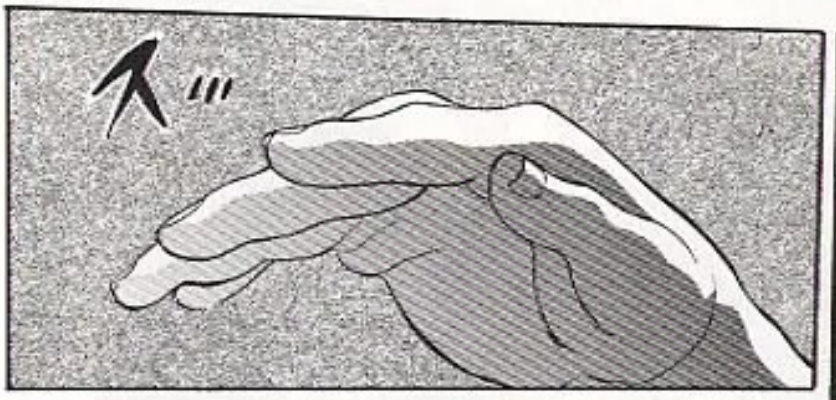
ドド!!

やっ
やめてェ
はたっ
はたっ
いやっ
やあっ!!

あ……う
ひ……ど
ひ……
ぶる
るぶ
ふーッ
ふっ
ふーっ

ひどっ
うどっ

い…
いくっ
いっ

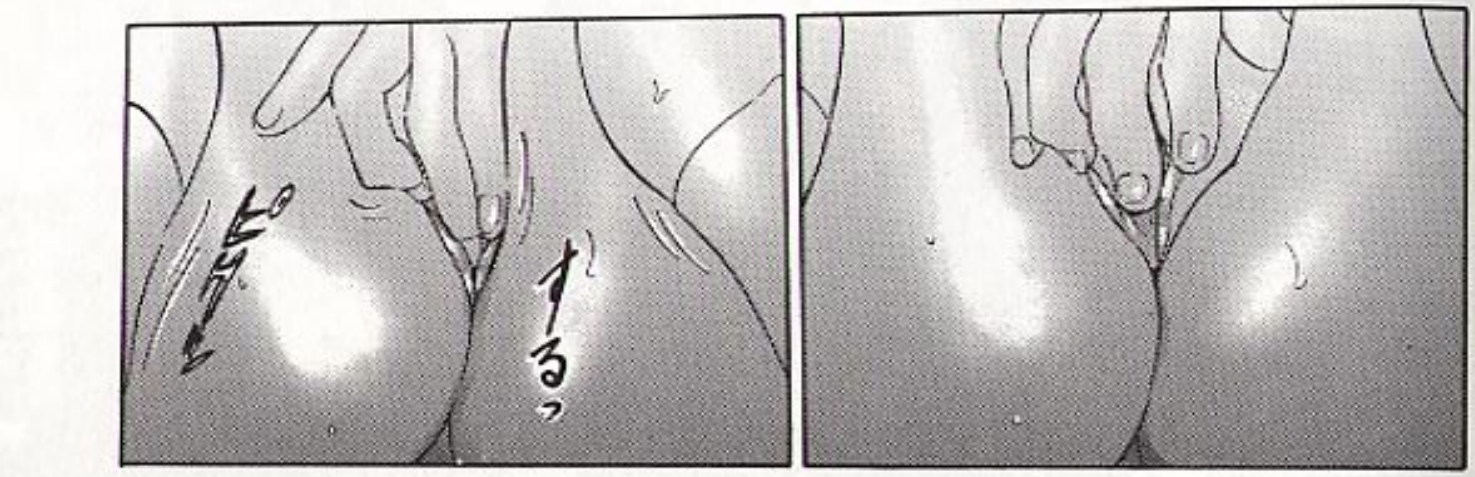


うどっ
いど
うえっ

ビクッ
ひっ!!

いやあっ

静かにしてなよ…でないと――
ブル ブル


するっ

裕子お菓子もってきたけど
い…いらない…笠倉くん食べてきて…お…おなか…
くにゅ くにゅっ
ぴくっ
うどっ
う…う
うっ

そう…
パーカハカ…

くちゅっ
ん…!!

いっぱい…
だって…
ちゅぷ
くちゅっ

ちゅく ちゅく
ひあっ
ちゅぷ
ん…
んっ
んっ
ぬるるぅ
は…あ…っ…
あっ…!
くりっ くりっ!
ちゅっ
は…くっ
あ…
あっ あっ…
あ…っ!!

ぬるっ
うっ
うっ…
どうして?
痛くて
恐いのに
あってるのに
どうして
こんなに…
あぐ
いっ…く
どうして?
……!!
ヒクッ…
あっ
あっ
…っあっ!!

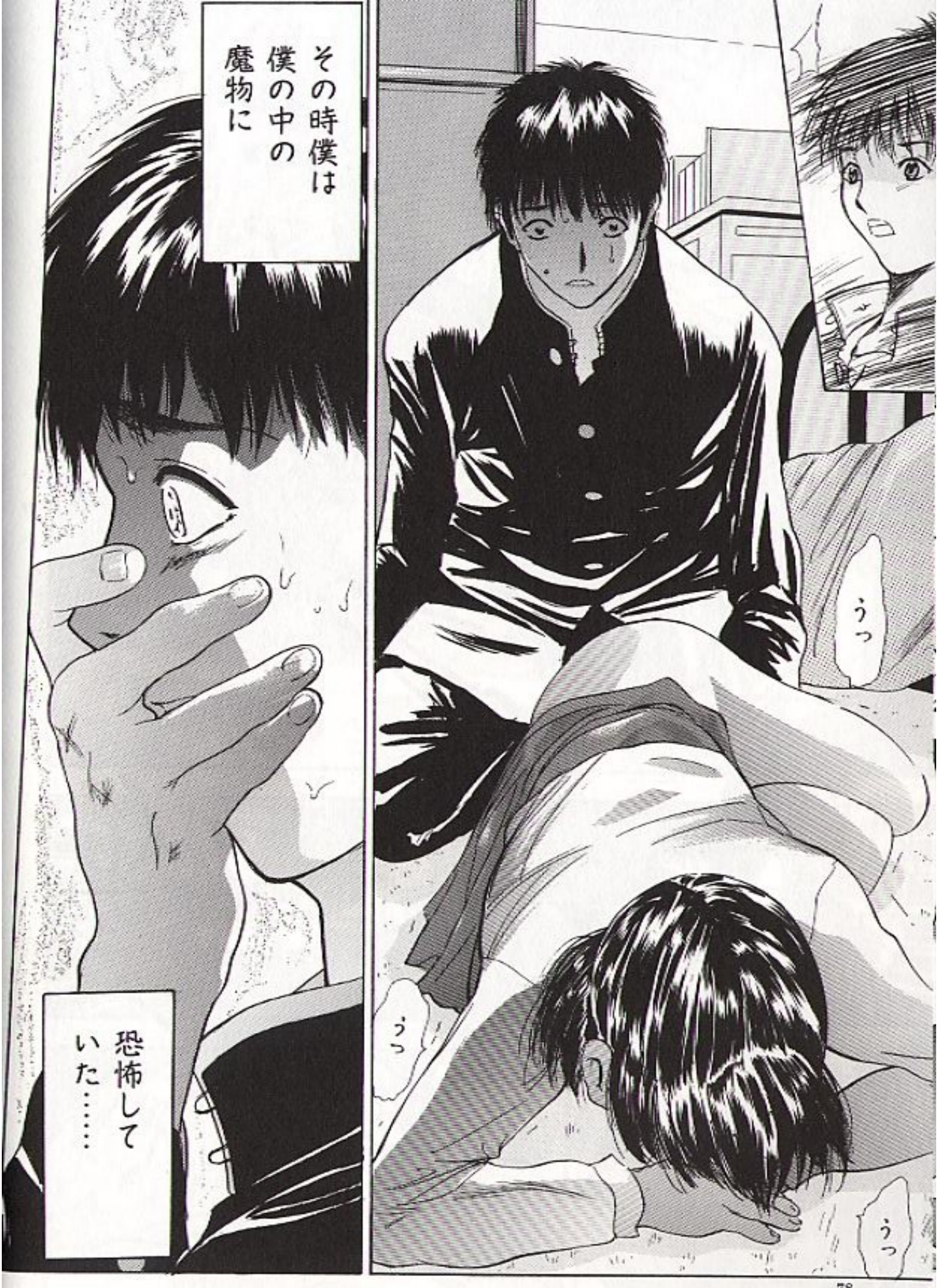
あっ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴくん
ぴくん
ふぁ
あっ
あっ
ちゅ
ちゅ

じゅるん
アッ
アアッ
はーっ
はーっ
はーっ
ブルルッ
ブルッ

ぐ……!!

…!!
……
……
…んうっ
…っ

笑って…
いつものように笑ってよ…
あっ
あっ
ぬぶっ
んっ…ん
んあっ…!!
くっ


その時僕は
僕の中の
魔物に
恐怖して
いた……
うっ
うっ
うっ

■「変化」

はあ
あ
あっ
稜
よく見ろ
お前の姉を…
ドクン
何故 静音(しずね)が
ここまで
ひっ
あふっ
ト…
肉親である私との
行為に溺れるように
なったか
ドクン
分かるか？
あっ
ふっ
ふあっ

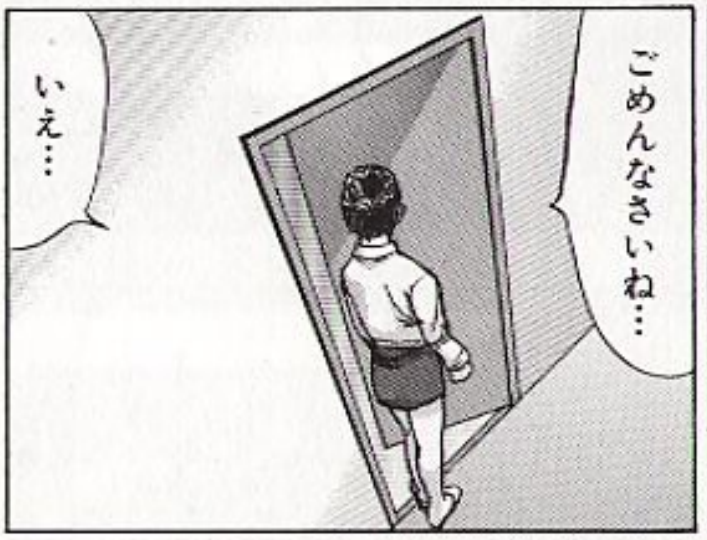
ヒィ
ヒィ

今日も休みだったね裕子
一週間かあ長いよ……

あれじゃない？登校拒否！
ウソ裕子しないよぜんぜんそんな様子なかったし……

カゼで一週間休む？
やっぱりヘンだよ
ドン
ドン

笠倉…くん
あ…あの
いっしょに
見舞いに行こうって
さ…さそってくれて
……
……
オ…オレ
じゃ…じゃまじゃ
ないかなァ
オ…オレ
みんなから
嫌われてるのに…さあ

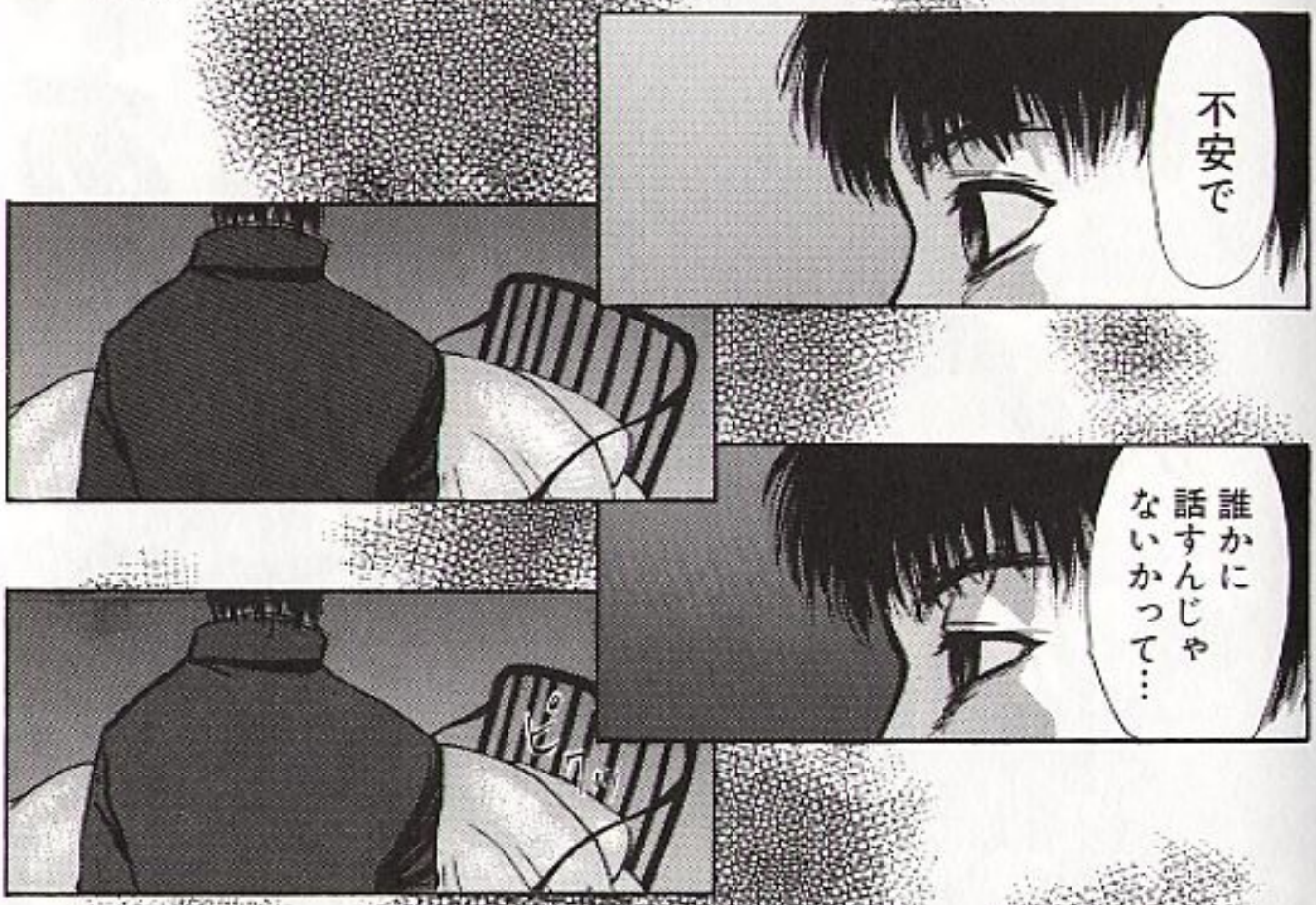

ごめんなさいね…
いえ…

裕子！
……
……

福島さん…

2人……か……

この一週間
心配してた


不安で
誰かに話すんじゃないかって…

か…笠倉くん……？
まだ話してないんだね…
でもいつかは話すんだろ

いやあああ!!
やあっ
!!……
てえっ!!

ヒッ
ヒイッツ
ギシッ

話し合いじゃ
解決しえない…
もう
こうするしか
ないんだ
彼女を——

変えるしか……

裕子!?

笠倉くん
やめなさい
笠倉くん!!
森尾(もりお)
こいつを
押さえろ!!
そ…
そんなこと
……
森尾……

たのむよ
友達だろ……
わあああっ!!

ギシッ

ひ…やっや…

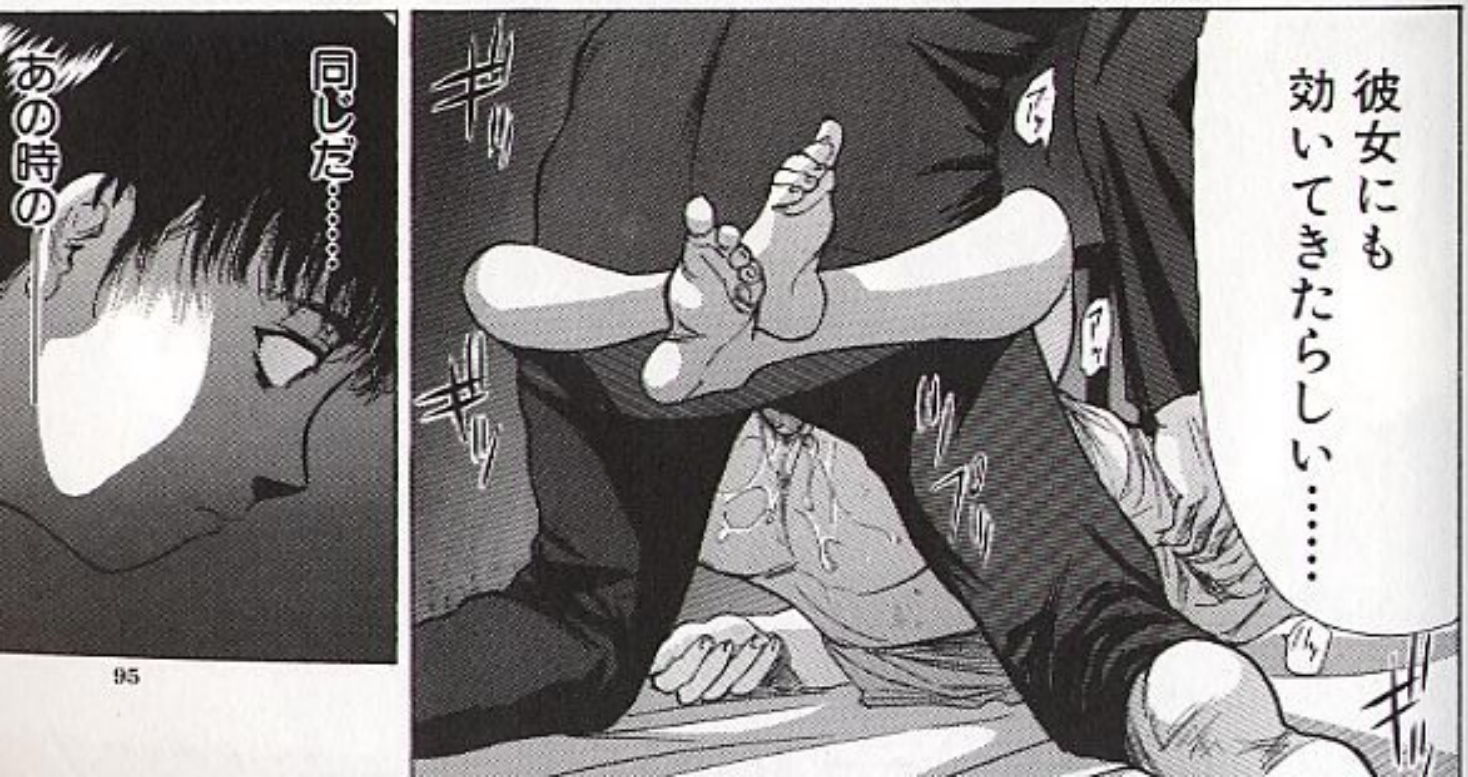
やあああっ!!

あああああっ!!…

ひっ
うっ…
う…んっ
…やっ…
…っ……
……
…は
あっ
っあ…
……
や…あっ

ふあっ
あっ…
あふっ…
ん…うっ
あっ
キュウ
あっ
はっ
あひっ
あはっ
？
森尾も
使えよ

速効性の
催淫剤だ
麻薬と同じ
習慣性もある
……
女性に限定
するけど…


彼女にも
効いてきたらしい……
同じだ……
あの時の

ぢゅるっ
あっ…！
い…　いやあ…
……
抜か
ないでっ！
い…入れて
入れてェっ!!
姉さんの顔と……

はあ

ひあっ！

ビクッ

ビクッ

あひっ

ヌチュッ

ヌチュッ

んっ…
あああっ!!

あっ…

ひゃ
ああああっ!!

ビュルッ

ビュルッ

支配する快楽を

僕は知ってしまった……

ビサッ

ビサン

■「破壊」
はあ
はあ
はア
ア…ッ
ん…っア…
…ハ
ハッ
ハア
チュッ
チュプ
チュプ
チュプ
ふう……
ん……っ
くりっ
くちゅっ
ハア
ハア
あ…っ!!

第六話
「破壊」
アッ アッ
みちっ
ぴぢっ

はんっ
うふぁ
あ
福島さん…
あっ
アーッ！

もうすぐ大勢の生徒が登校してくるよ
でもキミは見られる恐れがあるのに行為を拒まない…
あっ
ひっ
それとも見られたいのかな？
ヒヤアアッ…！

はア
あ
ん…っ
アフッ！
だ…め
オ…ア…
ンォアアッ…

はあ
はァ
は…ァ
はァ

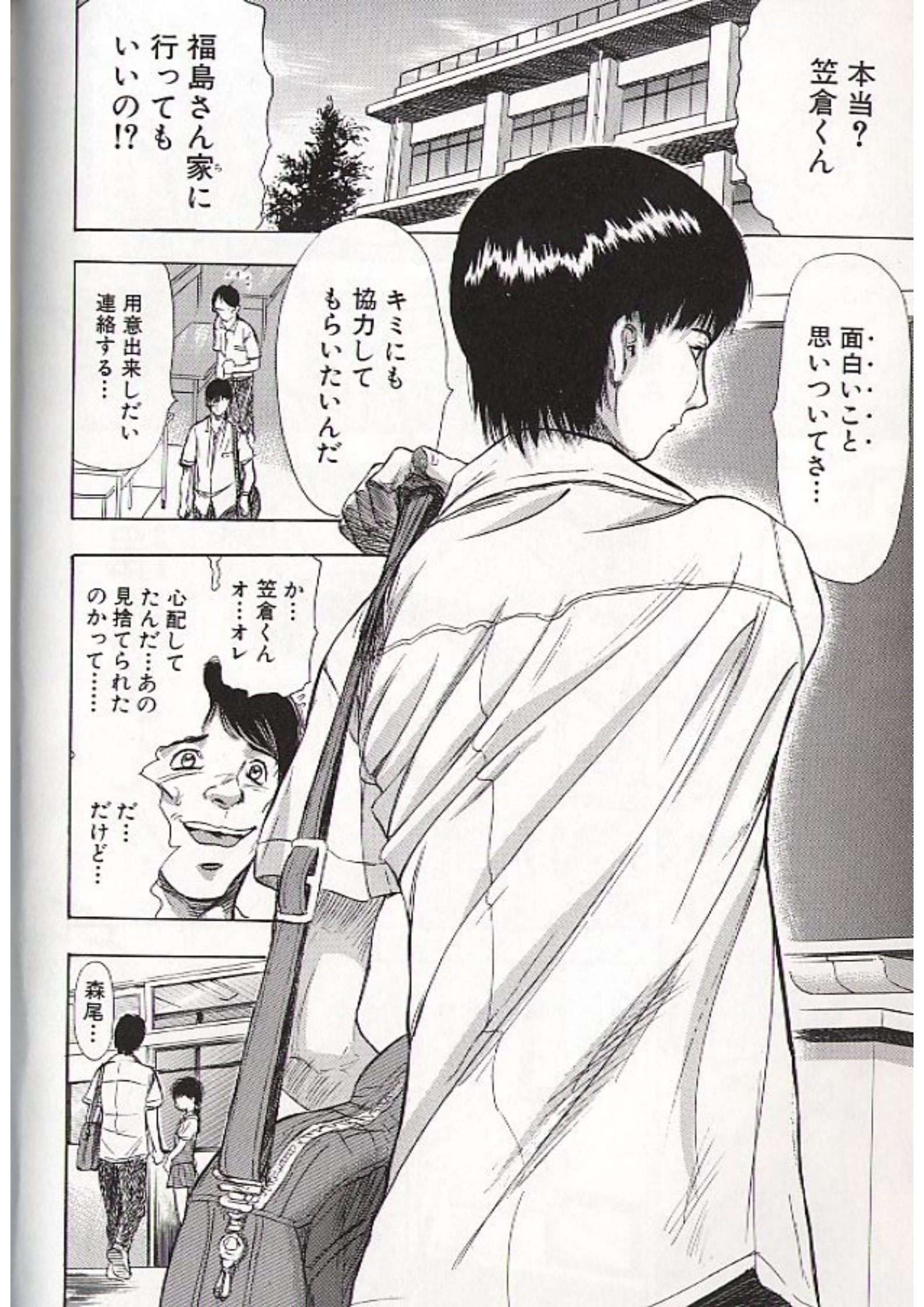
…さん
福島さん

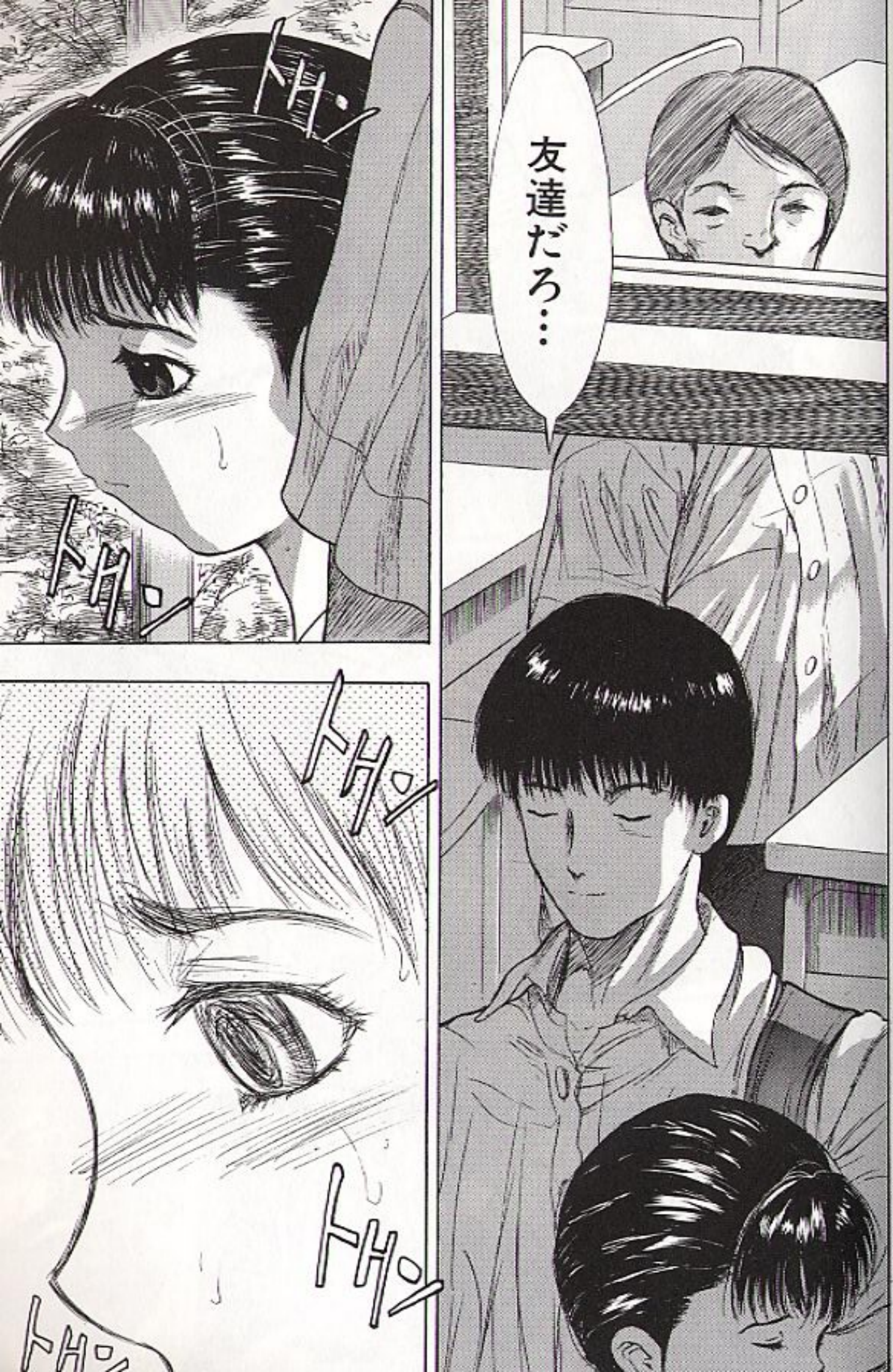
福島さん!!

……

あ……
ハイ…
どうしたの
ボーッとして

集中が
足りないわよ
すみま…
せん……


本当？
笠倉くん
福島さん家に
行っても
いいの!?
面白いこと
思いついてさ…
キミにも
協力して
もらいたいんだ
用意出来しだい
連絡する…
か…
笠倉くん
オ…オレ
心配して
たんだ…あの
見捨てられた
のかって……
だ…
だけど…
森尾…


友達だろ…
トン
トン
トン
トン
トン

凄い声だね
自分の娘が目の前で
あんなめに遭ってる
のに

んオ‥オッ
犬だからだ……
んア
あっ
おあっ
面白いだろ森尾？
あっ
あふっ

うわあああ

ビクンビクン

面白いわけないだろオ!!

それは良かった……

んハッ

オフッ

ンフッ

僕が面白ければそれでいいんだよ

オ

ぐぷっ

ぐぷっ

ずにゅぷっ

うア…ア
アッ……

ハウッ
あふっ
…っ…ハ

くちゅぷ
にちゅっ
にゅるっ

ちゅ

ん…

ぬるぶ

見えるだろ
僕のが
いやらしい音を
立てながら
ここを——

出たり

入ったり

ズ

アッ…

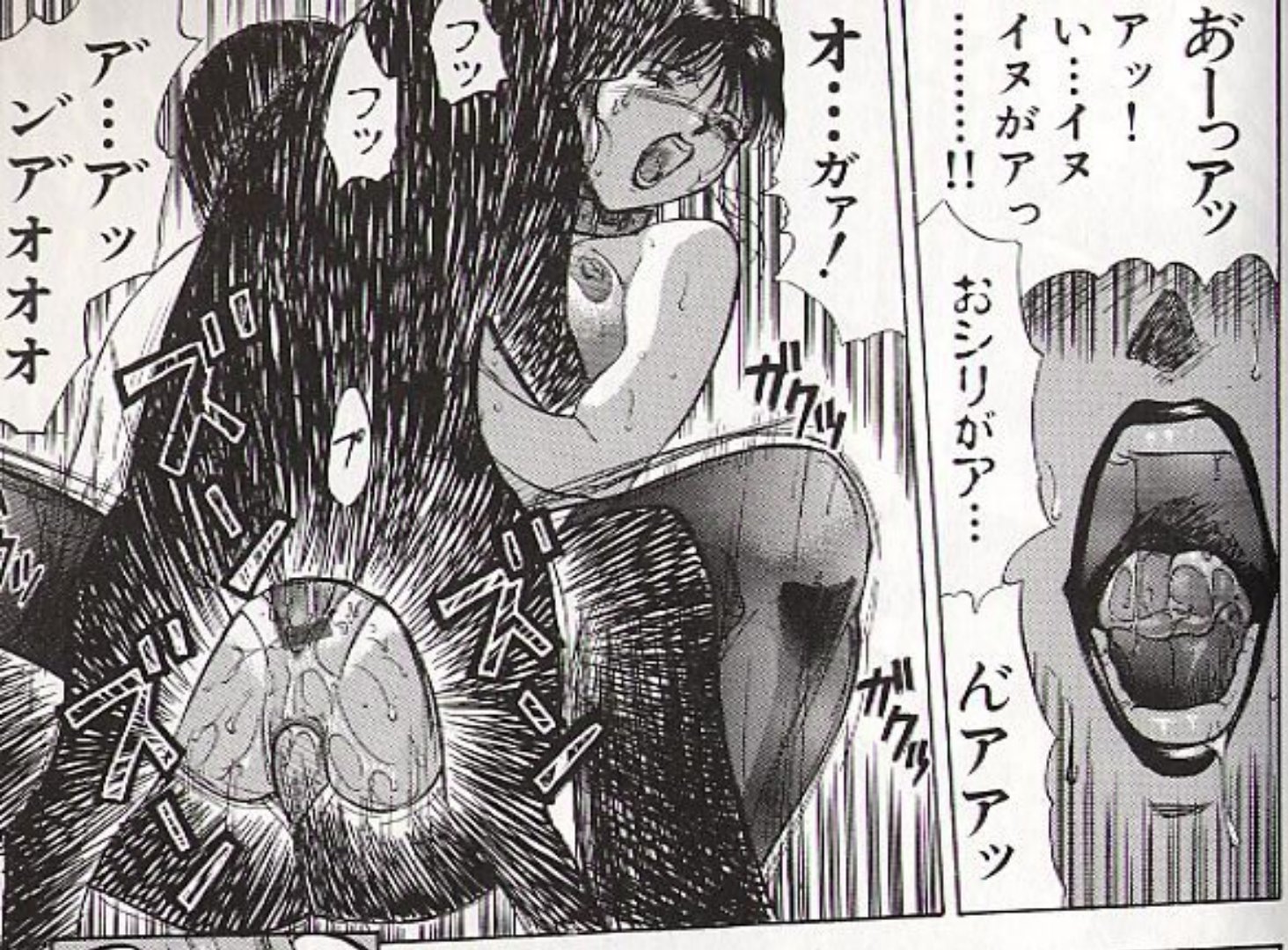
出たり……
あ
あオオオ…
声も凄いけど
出し入れする時の
音もどんどん
大きくなってる…
本当…
締まりがない
んア
オッ
んオオッ
アッ
ダメ…
ダメっ!!
ハッアッ
ア!!

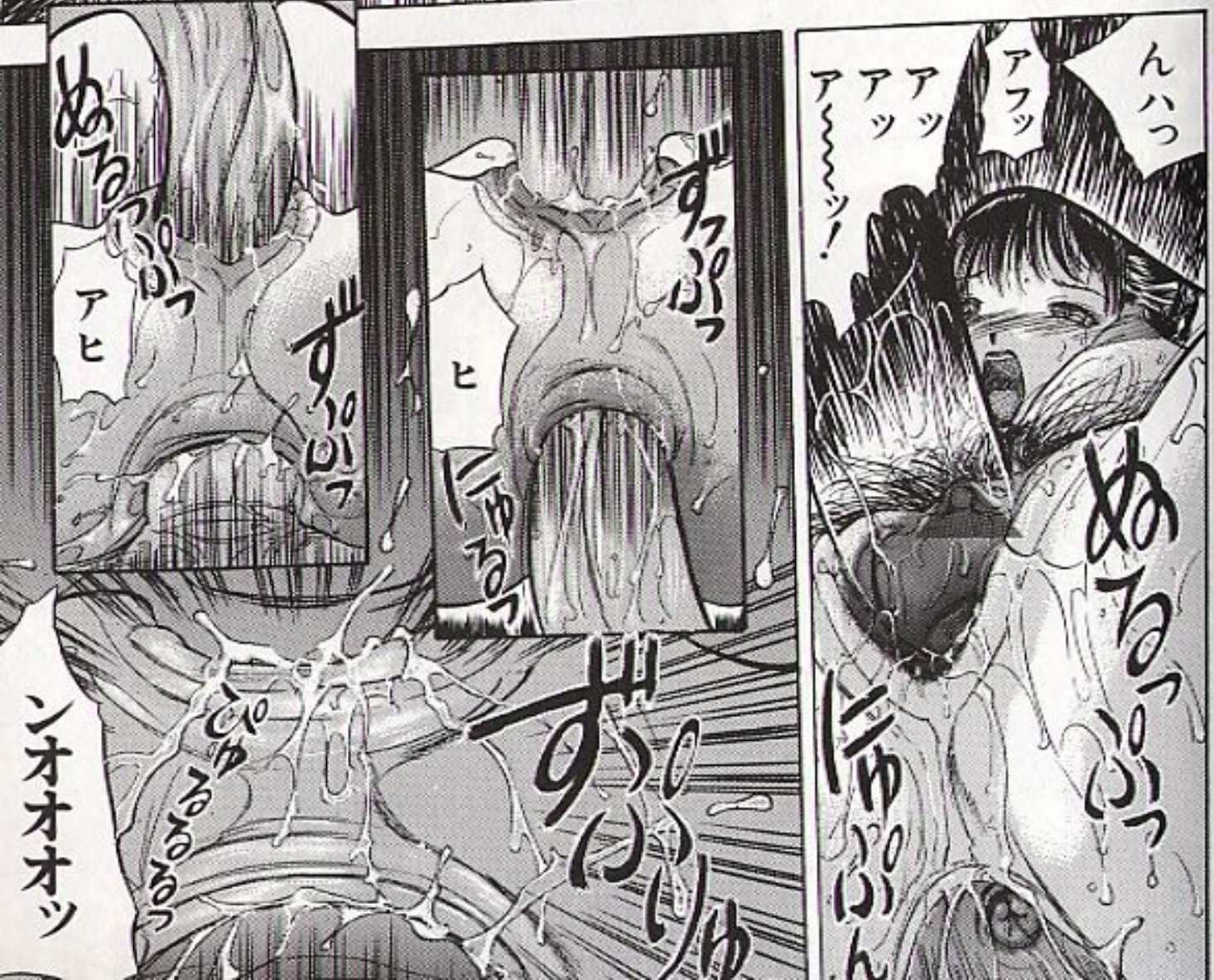
んアハ
アアッ
アッハ…
ア…
犬…だね
この人
彼の相手に
丁度良いかな

フッ
フッ
フッ
ハー
ハー

ビリイ…!?
「ビリイ」って言うんだ…
フッ
フッ
外で寂しそうにしてたからさ仲間に入れてあげようと思って……
薬の作用で彼は発情期のピークの状態にあるんだ
だから凄いよ犬も人も関係ないからね
ビリイ一緒に楽しもう
いやアアア！
アッア…

あ゛ア゛オアアッ!!


あーっアッ
アッ！
い…イヌ
イヌがアっ
……!!
おシリがア…
んアアッ
オ…ガァ！
ガクッ
ガクッ
フッ
フッ
ア…アッ
ンゾアオオオ


んハっ
アフッ
アッ
アッ
ア～～ッ！
ぬるっぷっ
にゅぷぷん
ずっぷっ
ヒ
にゅるっ
ぬるっぷっ
アヒ
ずっぷっ
ずりゅ
ぷりゅるるるっ
ンオオオッ

んあっ
あっ
あっ
あっ
ずぶ
ズズズ
んはアア
ん
ムニュウ
ふうっ
はァ
ぬるっ
アッ
ハッ
ズブ
ずぬっ
いやああ!!
私も…私もォ
!!
オッ…オ…
いっ…イク
いく…ゥ…っ
オマンコが…
おシリがァ…
イクゥゥ!!
イ…っ…ん
ハアッ!!
アッアッ
オ…オオオ
……!!

んオア゛ア゛ア゛
ブピュッ
ドピュッ
びゅるっ きゅぷっ
プピュッ

2年後……
ご免なさい
…私…言う通り
我慢するつもり
で……
でも…
……お願い
……お願い
……します……
笠倉くん……

はあ
はあ
はあ…
ブル
ブル
ブル
ヒザッ
拡げて
見せてよ
トクン
トクン
トクン
トクン
……

第七話
「恥辱」
ブル
ブル
ブル
ブル
ブル
ルッ
カタ
カタ
カタ

プルプル
カタ
カタ
カタ
カタ
いや…あ…
私 クラスメイトの
机の上で
こんな恥ずかしい
恰好を……
ヒク
ヒク
笠倉くん…
もう…
ゆるし…て
カタッ
カタ
……
この程度で
僕から快楽を
得ようとするの？
甘いよ
言ったよね
「何でもするから」
って…
！
それ相応の
ことは
してもらわないと

ん
ん…ん
く…ふ
くた

ん
んんっ…

はあっ
はあ
そう…
僕が
いいと言うまで
指を動かし
続けるんだ

はっ
ん…あ

あ
は…あっ

あ
あ…っ
ぴくっ
ぴくん
くにゅ

少しでも
濡らしたら
ダメだからね
!!

ひとつ
条件を
出して
おくよ

そ
そんな…
!
指が
止まってるよ
…
はっ
くにゅ
無理…
無理よ…
あ…
くにゅ
そんなこと
できるわけ…
笠倉くんが
いる前で
そんなの…

できるわけ
ないよ……！
……
あっ
あっ
はァ
んふぁ！
ビクッ
ビクッ
ヒク
くちゅっ
にちっ

いやらしい音が
聞こえてきた…
いや…ァ
違う…
違うう
…
くちゅっ
ちゃっ
ちゅっ
ちゃっ

何かたれてるみたいだけど？
あ…っ あっ ちが…
ちが…う
確認しないと…
笠倉くんの手が…？
ドサン
ハア
ハア
触られる……
私のここ…笠倉くんに触られる……
ドサン
ハアッ
だめ…いやァ…
だめ……
だ…めア…!?
アッ!!
ああっ
イヤ…
いや…イヤアアア!!

いやっ…
いやアア
……ッ
いや…
あっ
あっ
ゆる…して…
ゆるしてェ……
…アッ…ア…
ピチャ
アッ

ぬるっ

ゆるし…
ア
アッ

ぴちゃ…

は…ア
は…
はあっ…
はア
あ…あっ
はあ
ちゅうっ
あ
あっ
ぬちゃ
んアッ
アッ
ア…!!

アアハアアアッ!!

んっんん……
う
んっんんっ…
イったの？
入れられただけでイったんだ？
あ…っはあ
あ…ふ…あ…
まだ始まったばかりだよ
ひィアアッ

あっ
アッ
ハ…ア
んア
ヌブッ
ギュプッ
ギュゲッ
ジャン
ガッ
あっ
ヌプッ
あっ
んあっ
コロッ
コロッ
……んぅ…
あっ
ア…
アッ
あ
ひっ
ヌギュッ
あーっ
ギュブッ
この机キミの友達の小森さんのだよね

あっ
んあっ
アッ

はア
ア…
うあ…

あ…
小森さん
これ見たら
おどろくだろうね
ひ…い
あ…あ

ひどいな
友達の机を
きみのいやらしい
液でよごしまくって
……
…あっ

明日になれば　また
クラスのみんなが
席について授業を
受ける

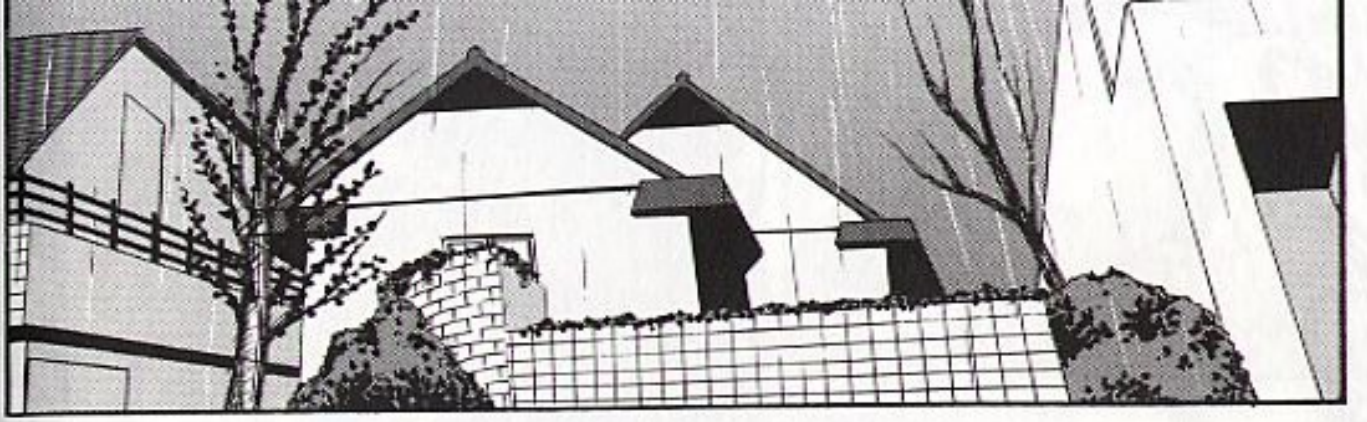
その席に向かって
自分の姦される姿を
さらしてるのは
どんな気分だい？

っっ…
ひあ…
あっ
あっ…
ぐっ…
くにゅ
にゅっ
うあっ
！
んあっ！
きゅぽ
……デッ…

ふあっ
あっ
…アッ
ア…!!
ぬりゅ
くにゅ
クラスの
みんなに
見せてあげなよ
キミのイく
瞬間を
あっあっ
いや…
いやっ
いや
あァ…
いやあああ！

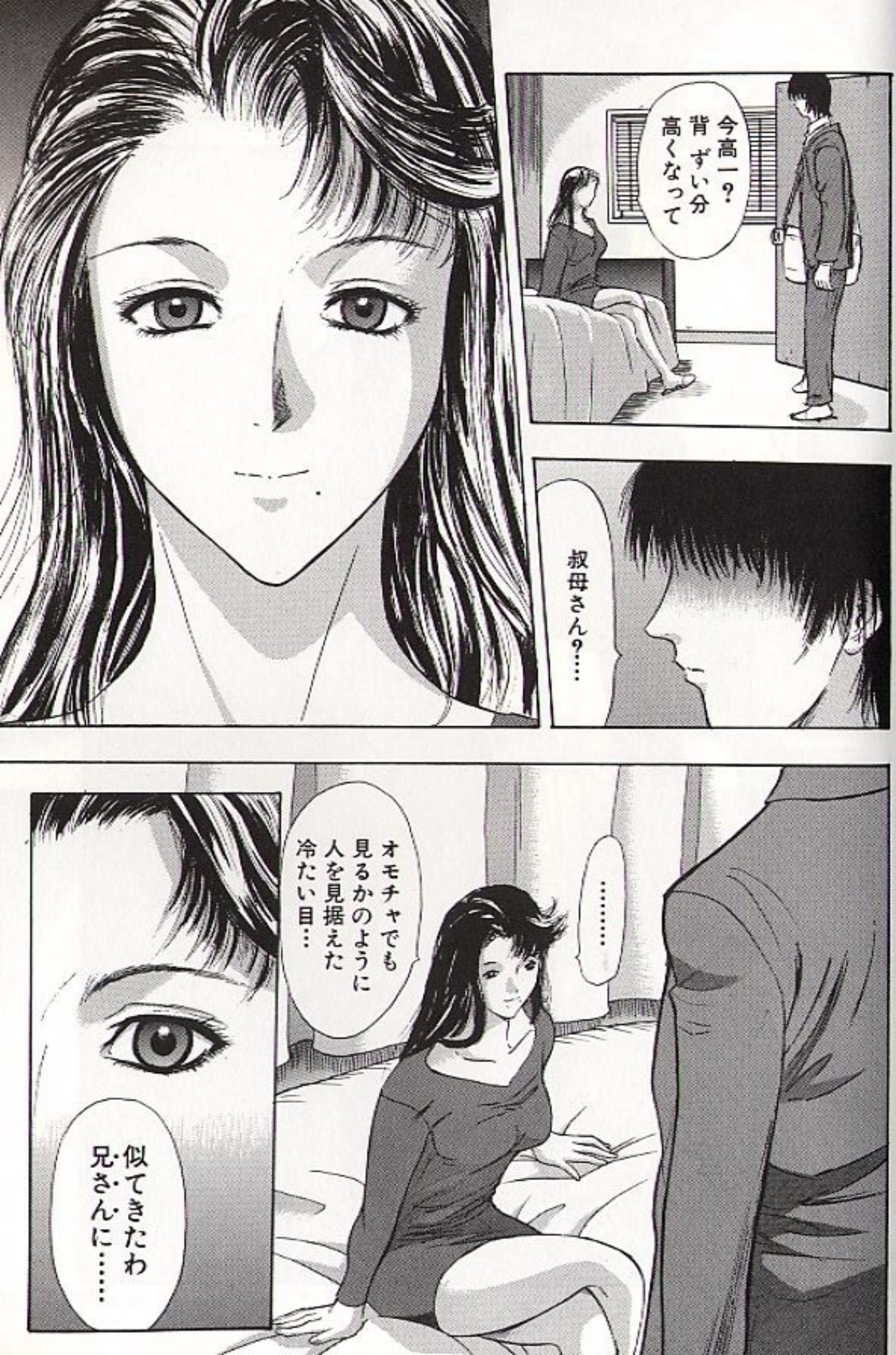
ビュッ
アッ
アッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
アッアアッ!!

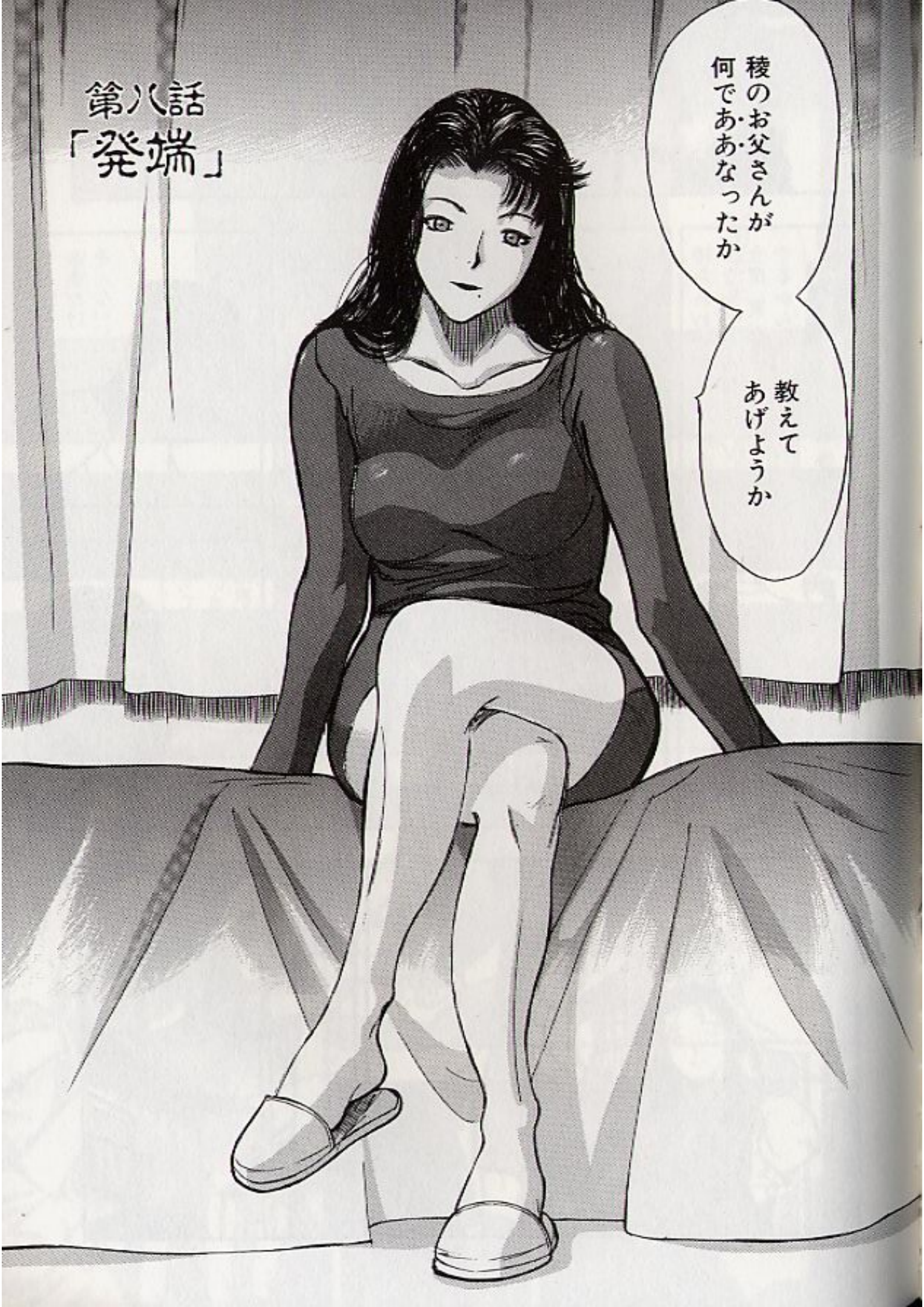
ビクン
は…ア
…ア…
ビクン
ぬるるるる
チュポン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ザァァァァ



久しぶりね
稜

!?


今高一？
背 ずい分
高くなって
叔母さん？……
……
オモチャでも
見るかのように
人を見据えた
冷たい目…
似てきたわ
兄さんに……


第八話
「発端」
穂のお父さんが
何でああなったか
教えて
あげようか

1972年

ずるいよ！
奈美だけ
そんないいの…

だって
いい点採ったらって
約束だもん

僕だって
こないだ
……
あの程度で
いい点だなんて
お兄ちゃんたら
うるさい！

持ちあわせが
少なかったんだよ
今度 買って
やるから
本当!?

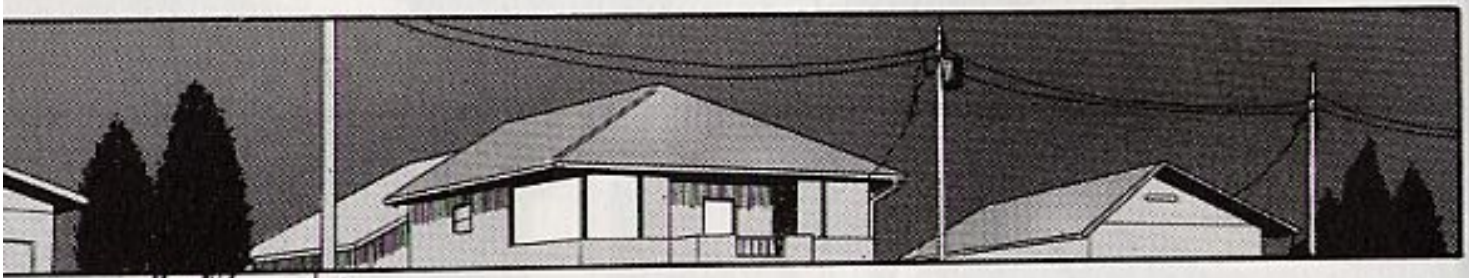
そのかわり
次もがんばるん
だぞ
無理
無理
うるさいなー！

笠倉さんとこ
本当 仲が
いいわねえ
ウチのも
あれくらい
甲斐性が
あればね

笠倉善明の
大変な子煩悩ぶりから
近隣の人々は

良き父 良き夫の
理想像を彼に
重ね見ていた

だが 真の彼は……



…う
うう…
チュルルルルル
奈美…
父さん?……
お…兄…
たす…け…
あーーっ!
よく見えるだろう
私のペニスが奈美の入り口を押し拡げて
根本まで入っていくさまが
奈美の膣内は
い…い…ぞ
い…あ
あああっ!!

あ
あ
あ
あ
あ……あ
うあ……

その時から
壊れたのよ…
私達
父子(おやこ)は…

あの時 なぜ
父さんが
私を姦したのか
会社でのストレス
夫婦仲の悪化…
いろいろ考えられるけど

亡くなった
今では
それも解らず
じまい
解ったのは
私達はもう
普通の家族のように
生活できなくなっていた
ということ…

死
死
死

父さんに姦されてから
数日後
兄さんは私を
罵倒しながら
何度も姦したわ
まるで
何かが切れたみたいに
激しく……

慰めるとか
まったく口を
きかなくなるとか
じゃなく
父さんへの怒りを
被害者である私に
ぶつける方に走ったのね
兄さんは…

でも
私は…

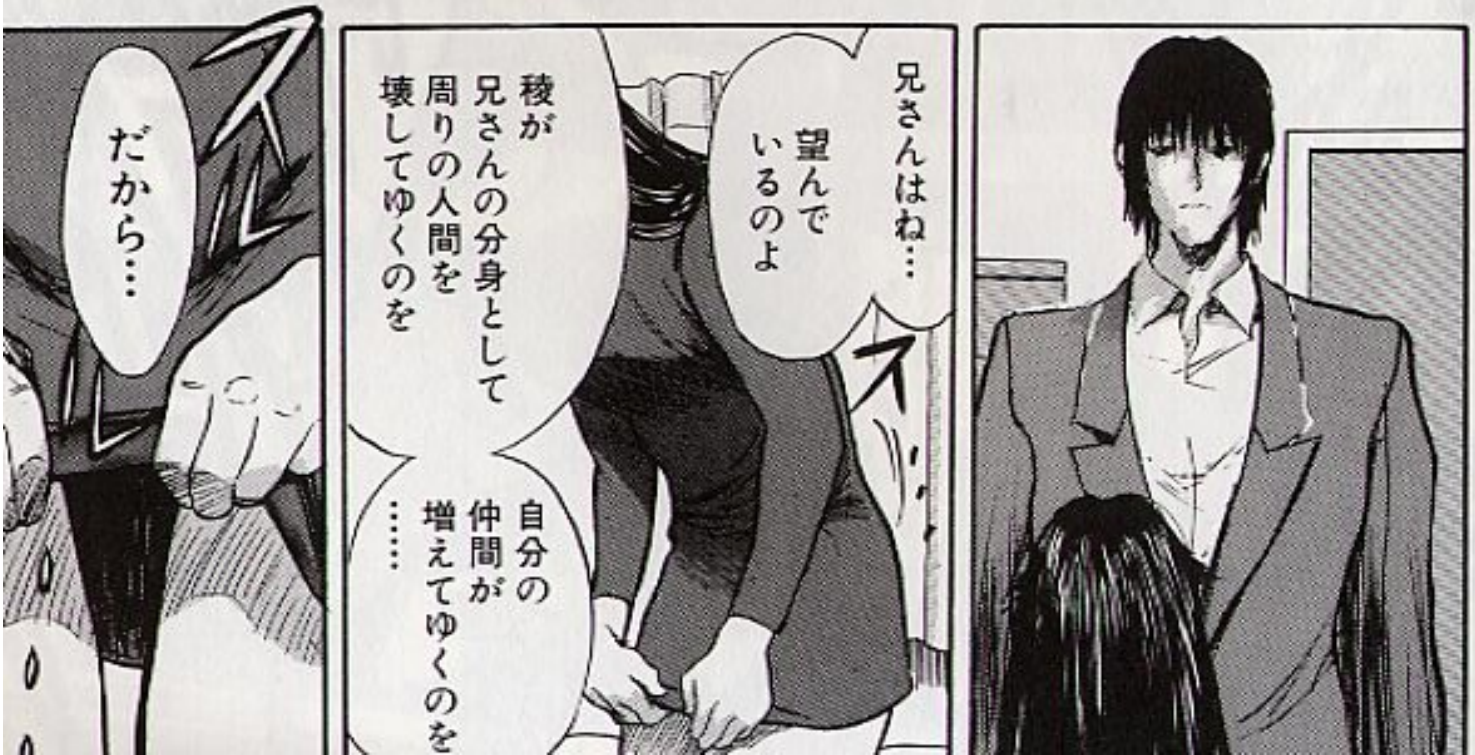
そんな兄さんを
受け入れてしまった
……

あの時の
父さんの私への行為は
私達兄妹の
心のバランスを崩し

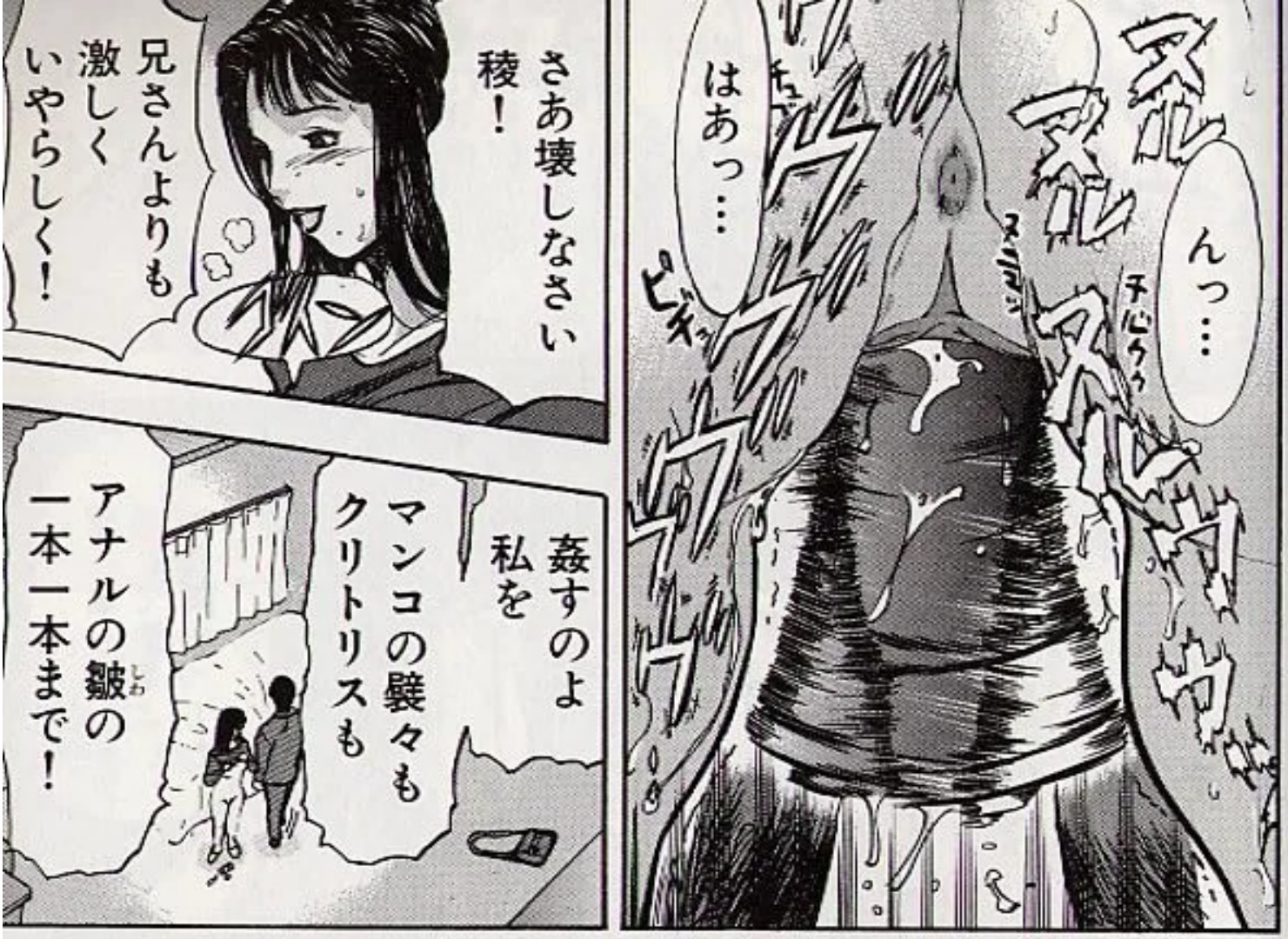
その崩れて
不安定な心が
2人を異常な性行為
に向かわせた…

稜も
そうなんでしょ
知ってるのよ
すべて——
兄さんから
聞いたわ
だから
稜に
このことを
話したの

兄さんが
ああなった
理由を知って
もらい
稜も
兄さんと同じ道
を歩んでいるの
だということを
自覚してもらう
ために


兄さんはね…
望んで
いるのよ
稜が
兄さんの分身として
周りの人間を
壊してゆくのを
自分の
仲間が
増えてゆくのを
……
だから…

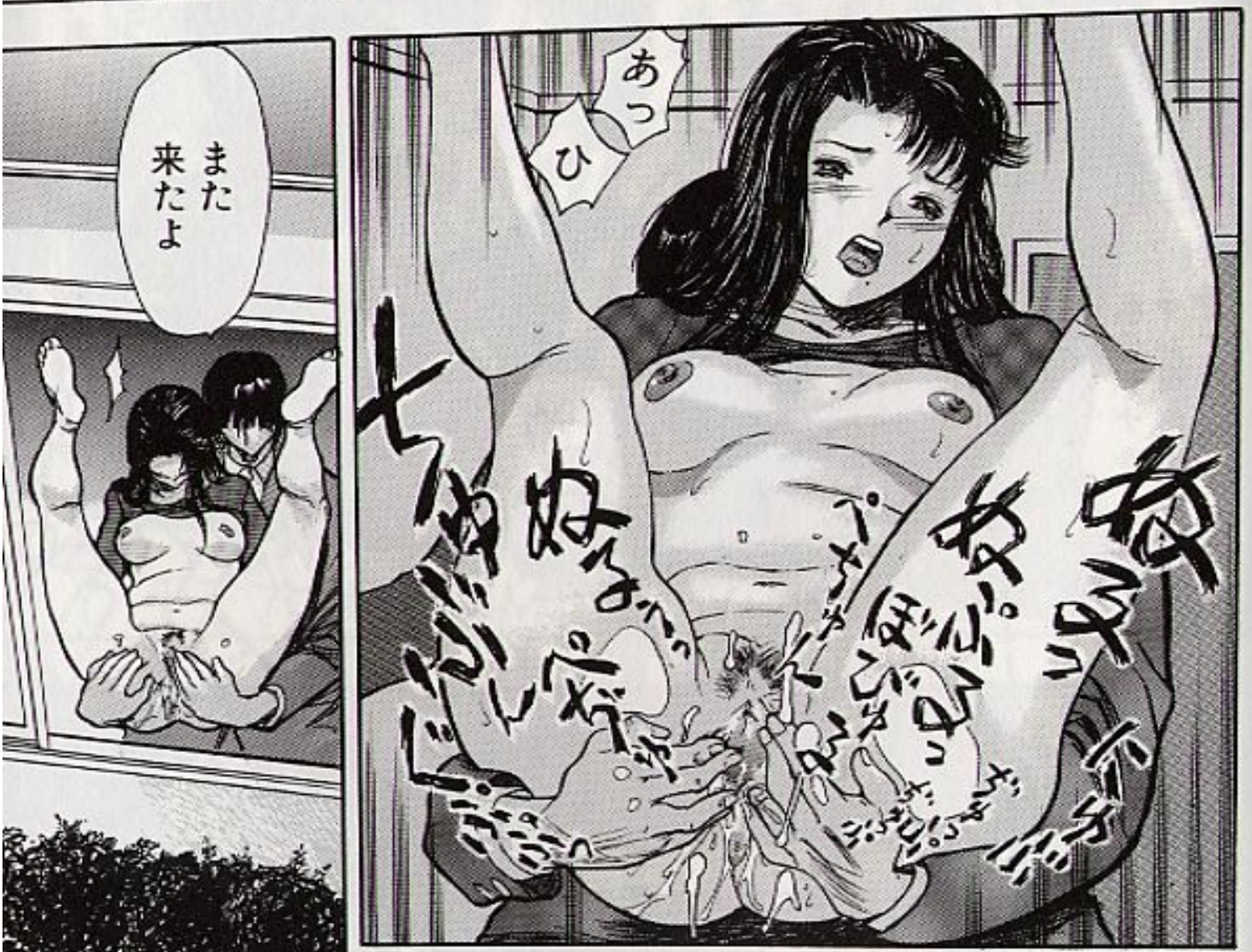
確認
したいの
稜がこれからも
人を壊しつづける
覚悟があるか
どうか……


んっ…
はあっ…
さあ壊しなさい
稜！
兄さんよりも
激しく
いやらしく！
姦すのよ
私を
マンコの襞々も
クリトリスも
アナルの皺の
一本一本まで！

ジャッ
？
あっ！
ぐいっ
ひっ

稜…!?
まだ日中
だからね
人はよく通るよ
ほら
…
!
望み通り
姦してやるよ
外に向かってね
ぱくっ
あっ
ああっ…そんな…

叔母さんがいくまでにどれだけの人が気付くかな
あっ
ひあ
あッ
アッ
ン
あッ


また来たよ
あっ
ひ

あふうっ

見られたいんでしょ…だって
叔母さんは変態だからね
ああッ…そうよっ
私は変態ッ変態なのよッ！
ぢゅっ
ぐにゅぉ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
見て
私を見て
私のアナルもマンコの奥も見てっ
見て
ハア…ッ
グチョグチョのマンコ拡げて窓に押しつけて道行く人に見せたがる
大変態なのよッ!!
見…ンッ…！

んハアアアッ!!

ハア
ハア
ハ…ア

あっ
アハッ
んあっ!

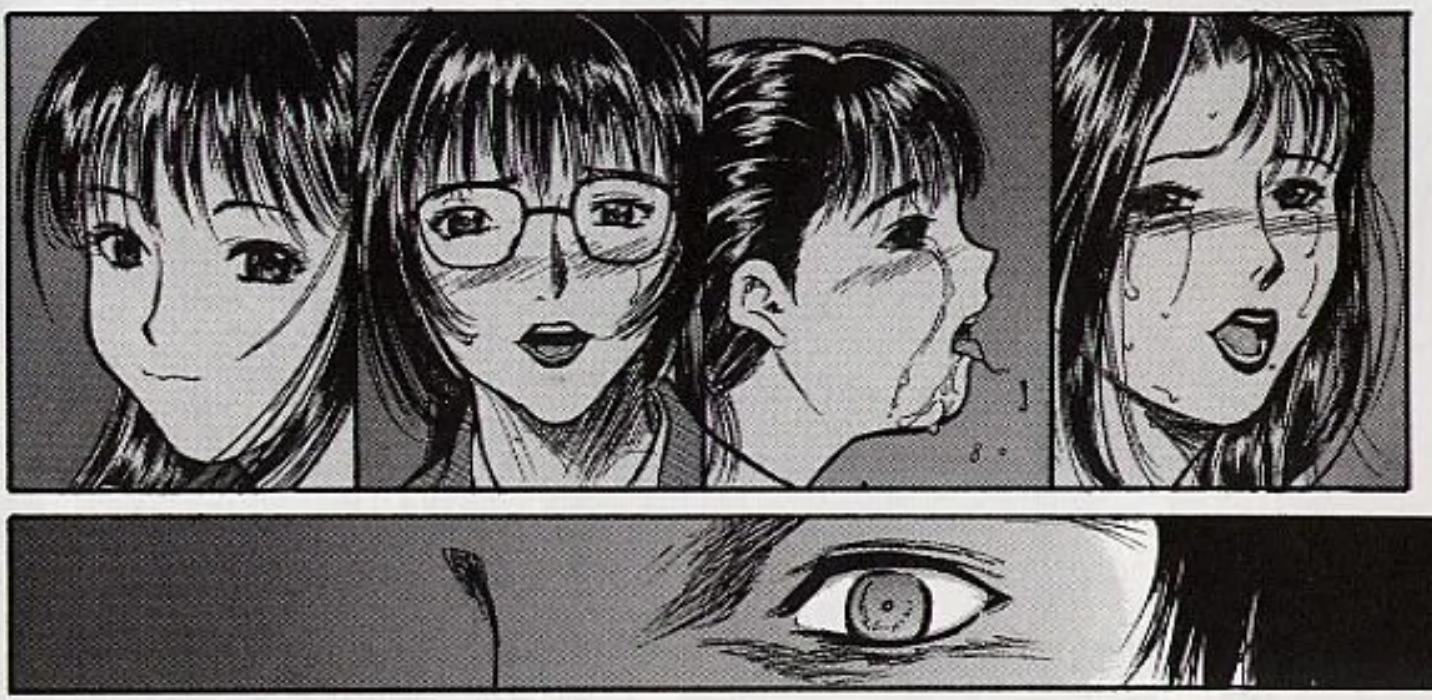
アッ
アーッ
アッ
い…いいっ…!

とうとう
見られたよ
僕と
つながってる所を

本当に変態だね
人に見られてるのが
解ったとたん
叔母さんの膣内が
激しく波うち
はじめてる
はァ
あフッ
何かの
生き物の
口みたいにね

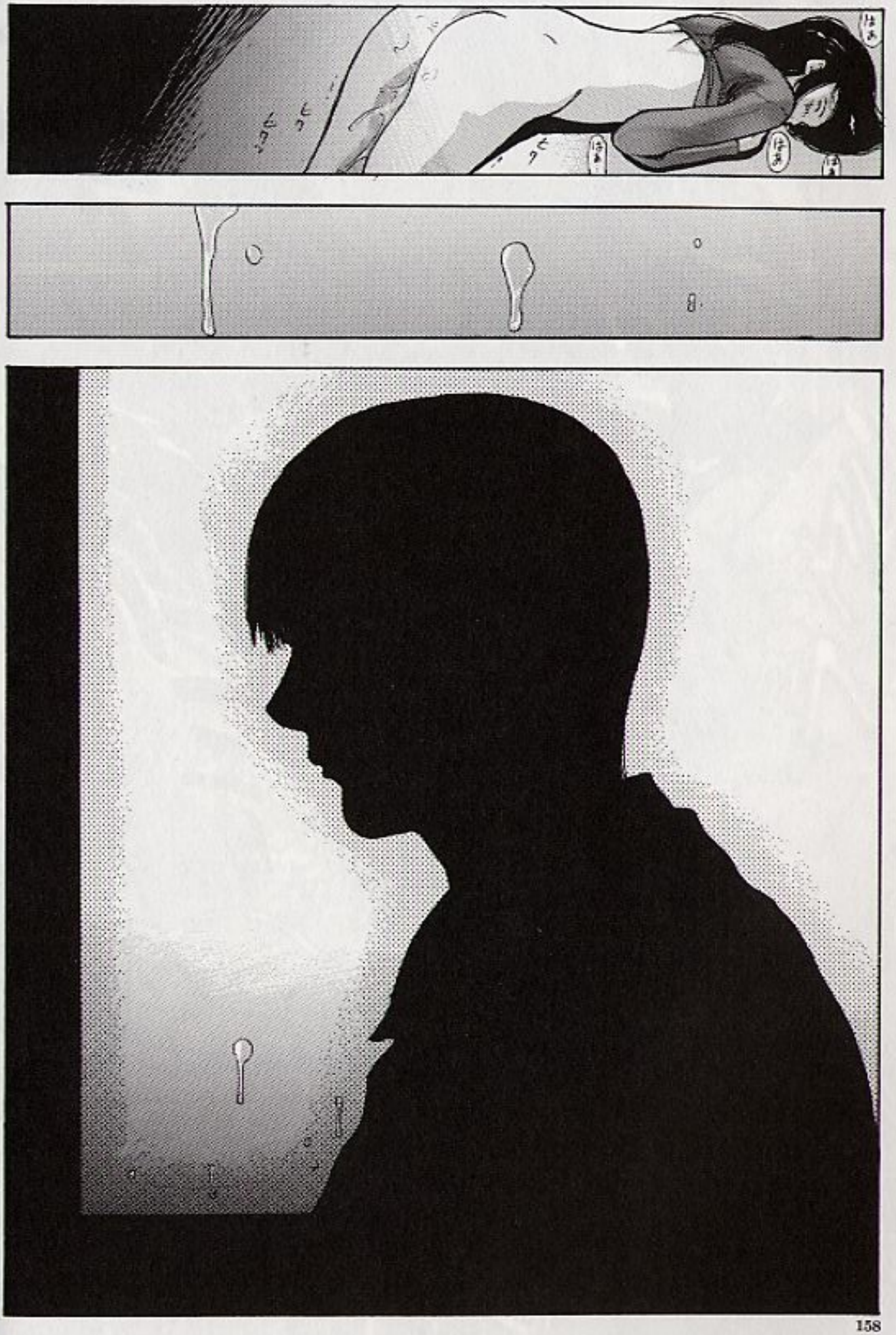
は…
あ…ハ
アハァ…

あっヒイイ!



壊れて しまえ……

…っく…
ア゛ア゛ア゛ッ



■「輪廻」

御免
今日 ダメなんだ…
ハラへったね
コロラド行かない？
いいねェ
早苗は？
彼氏？
あんたもてるもんね～
そんなんじゃないって
5F
4F

第九話
「輪廻」
フッ
フッ
アヒ
アッ
ア…

んア…
アッアア!

んア
ア…デ
ハッア…

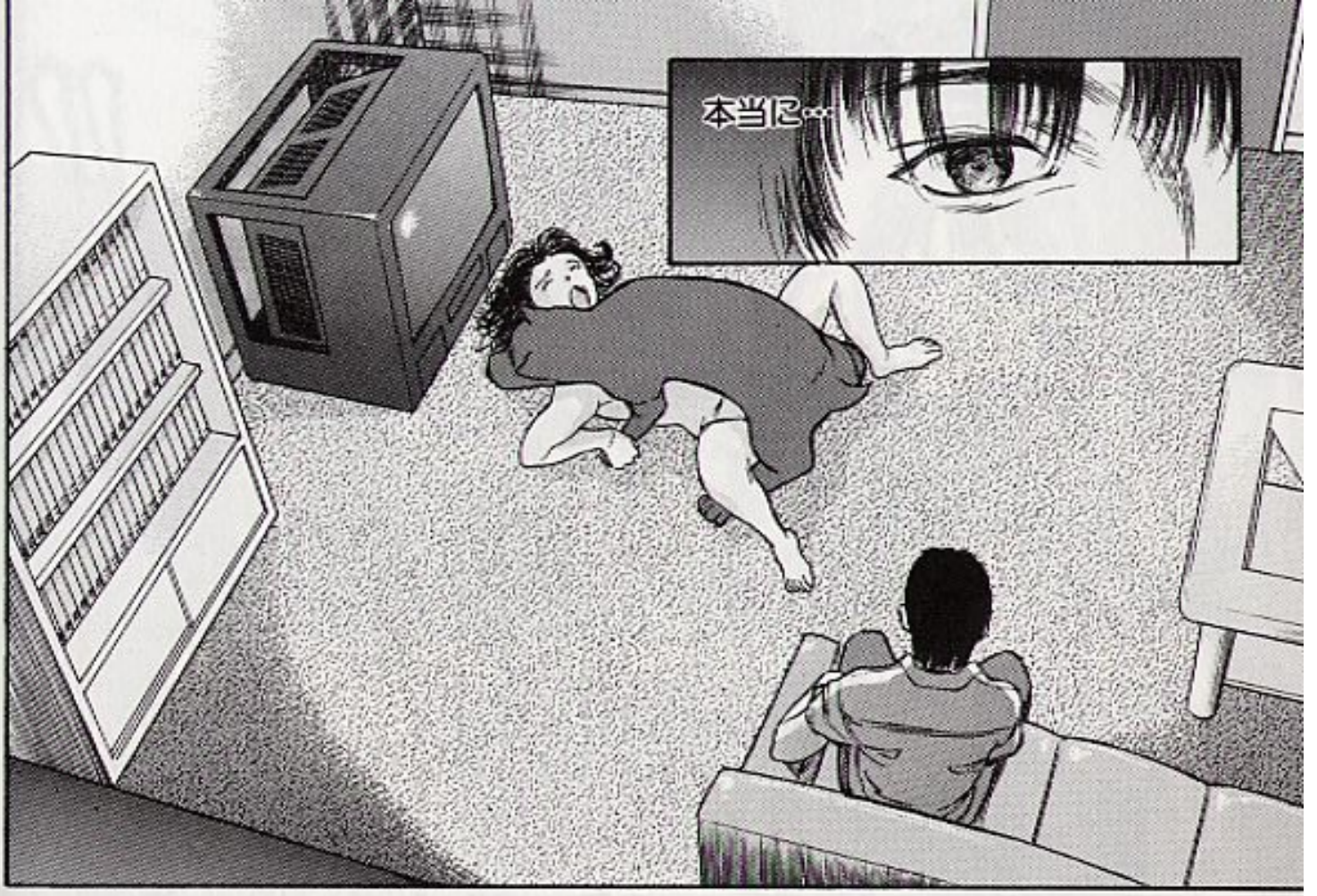
連れてきて良かったよ こんなに喜んで貰えるなんて
んあっ
はァっ
あ…う
ところでそれ——
あっ
はァ

フッ
フッ
フッ

きみのお父さんが撮ったの？
あ
んあ
はァ

あっ
あ…

ヒッ
ヒ…ア…
となりお母さん？
仲いいんだキミの家族
んア
アッ
オ…ア
アァッアア…



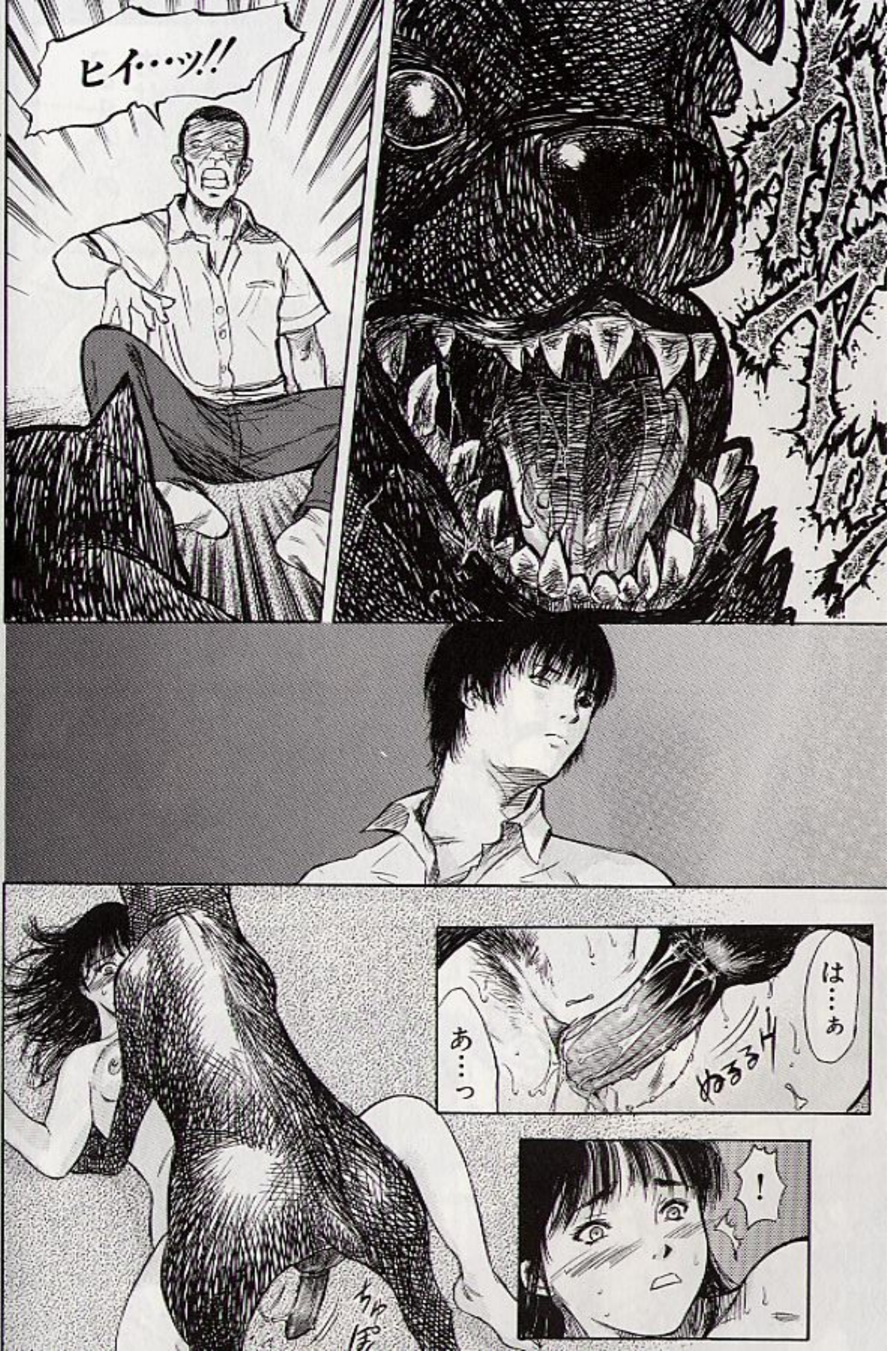
本当に…

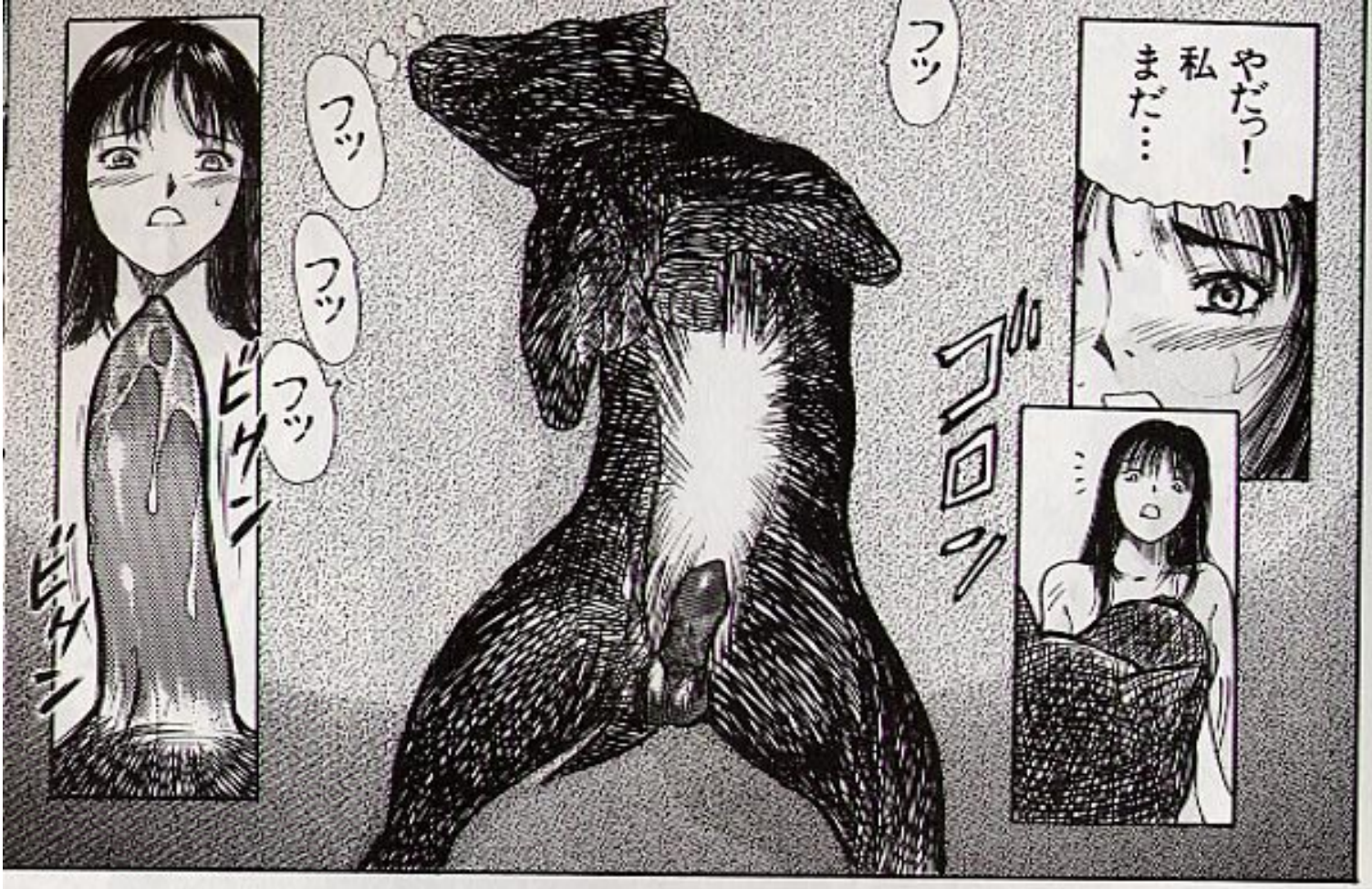
アッ
んアッ
ア
ア…
アアッ
フッ
フッ

あの…
笠倉さん…
その…
オレ…も…
はア
はア

僕は
いいんだけど…

「ビ・リ・イ」の方は？
アッ
ア…
アンッ
アハッ
ハッアハ
…アッ！
あのさ…
へ…へへ
ビリイ…


ヒイ…ッ!!
は…ぁ
あ…っ
ぬるるH
!


やだっ！
私
まだ…
フッ
フッ
フッ
フッ
ビクン
ビクン
ブロロン

犬は相手に
服従の意志を
伝える時
身体の弱い部位
（腹等）を見せる
普通はね
でも彼は
特別なんだ
わかる
だろう？
フッ
フッ
……
はあ
はあ
ビクン

はあ
はあ
あふうっ…
ん…！
ヒルル

んはっ
は…デ
ん…オ
オオオッ

ヒッ
ヒイ…
アフッ
オオ…
あヒ
オ…オッ
すごい…ィ
私…から体重
かけてる…分
さっきより…
ハッ
オフッ
んアッ
深いイ……!
ぬちゃッ
ぬちゃッ
ぬちゃッ
ぬちゃッ
アッ
ハ
あひっ
ひっ
う…う
ひいっ
わああぁ!!

お願い…
お願いしますっ
ビリイ…
いや…
ビリーさんっ!!

フッ
フッ
お慈悲を～～ッ!!

あっ
ボッ
んオ
んはっ
はっデア
はあ…っ…
ん…
…っデ!
は
いっ…いいっ…
あっい…

はぁ
はあっ
はっ
ぎゅ
ぎゅムッ
ん…く
っはっ
んはっ…
ひっ…あっ
アヒッ
アッアッ
アッアッ
キュパッ
ギュプス
ギュゲッ
ヌパッ
ギュパッ
ギュブッ

ふあっ
あっ
んはっ
アッ
アッ
ア
はあっ
あっ
あっ
んデ…
デ
アッデ
ヒィ…
アッオ…オ
にぢゅっ
ビュッ
ビュッ

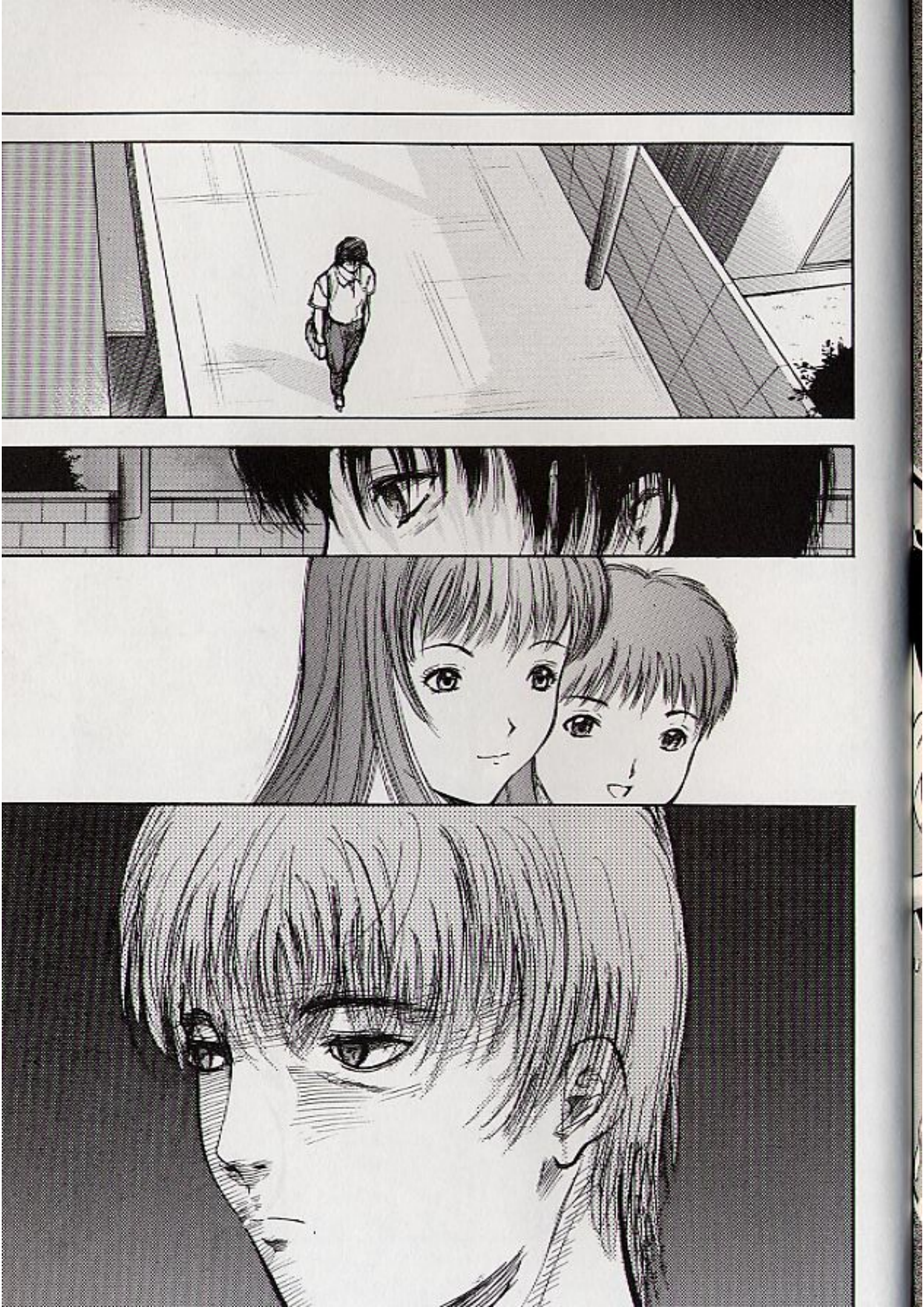
んァ
ァハ

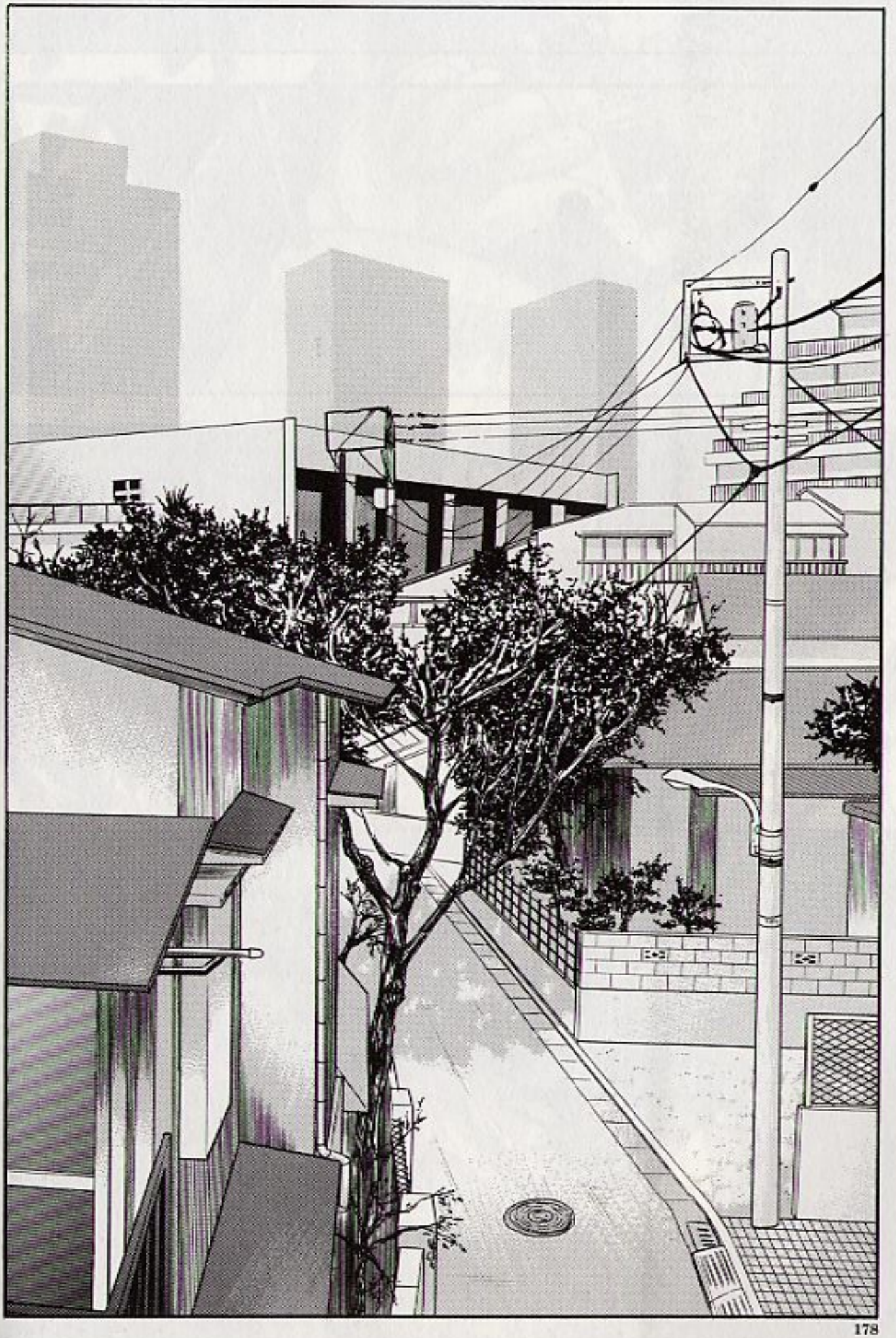
あっ
あっ

アーッ
んあっ…
あっあっ

はふっ
はァ
ぬ
ア
ダメェ…私…
いく…
犬に……
いかされるウ!!
あ！
いっ…くっ
いっ…
ぬるるるるるっ
んアッ
アッア…オ
……
ギュ
ちゅ
んオ…
…オ!!
ちゅぷ
じゅ

オアッ
アア…ア
ピュッ
ピュッ





作・画

ヤマダ
山田 タヒチ

作画協力

サンスン
三寸

オレサマ
俺様

ミサクラ　ナンコツ
御桜・軟骨

他

稜 -RYO-

成年コミック
山田タヒチ
TAHICHI YAMADA

IRAY
TAIICHI YAMADA